

昭和58年
9・28災害誌

岐 阜 県

はじめに



昭和58年9.28災害は、台風10号くずれの温帯低気圧により、県下では数日前からの降雨に続き、28日当日木曾川上流域においては更に200ミリを超える豪雨があり、美濃加茂市及び坂祝町で木曾川がはん濫し約2,000世帯が、り災するに至りました。

県としましては、9月29日午前零時にいち早く災害対策本部を設置するとともに、両市町に対し災害救助法の適用を決定し、被災住民の救助等の応急対策に万全を期し懸命の努力を傾注してまいりました。

お陰をもちまして、被災地の復興も順調に進み、ようやく平静を取り戻してまいりました。これはひとえに被災地の皆様の不屈の精神と不断の努力、更には国をはじめ関係機関並びに各地から寄せられた御支援、御協力の賜と厚くお礼申し上げます。

この災害に伴う各種の経験を貴重な教訓として、今後の災害体制の充実に万全を期し、災害の無い豊かな県土づくりに邁進する所存であります。

昭和59年3月

岐阜県知事

上松陽助



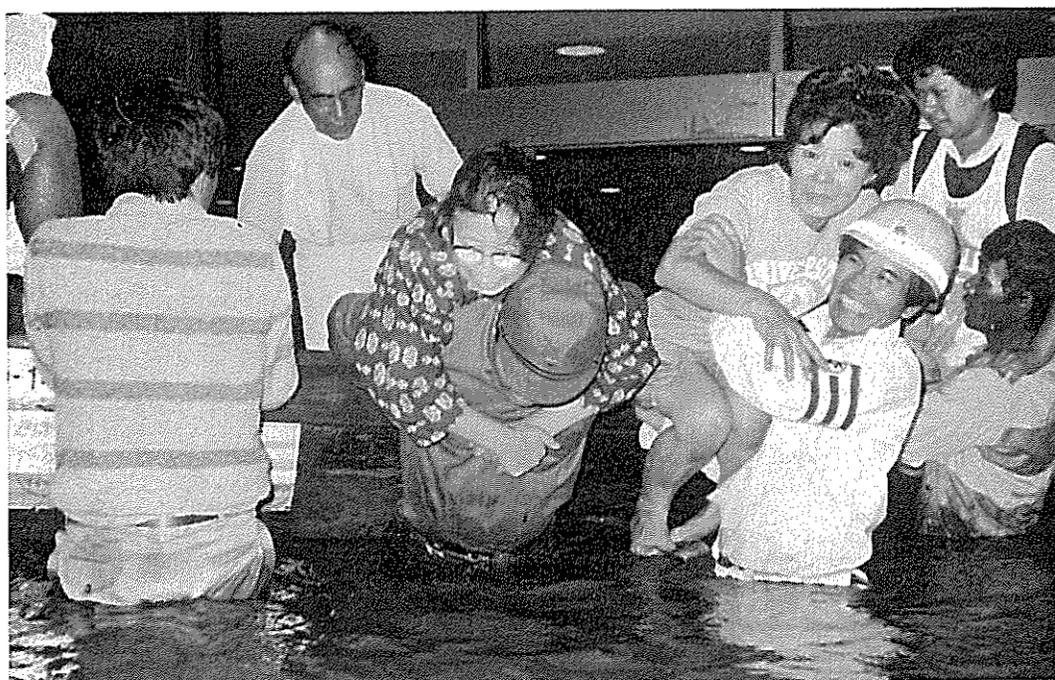
美濃加茂市



県 庁



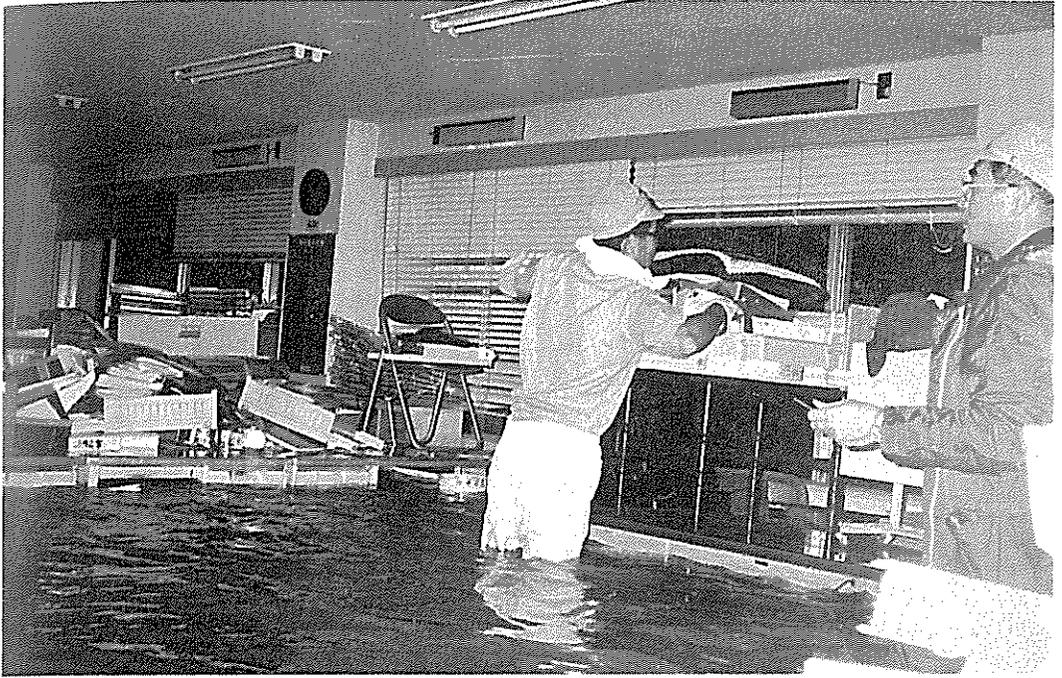
美濃加茂市



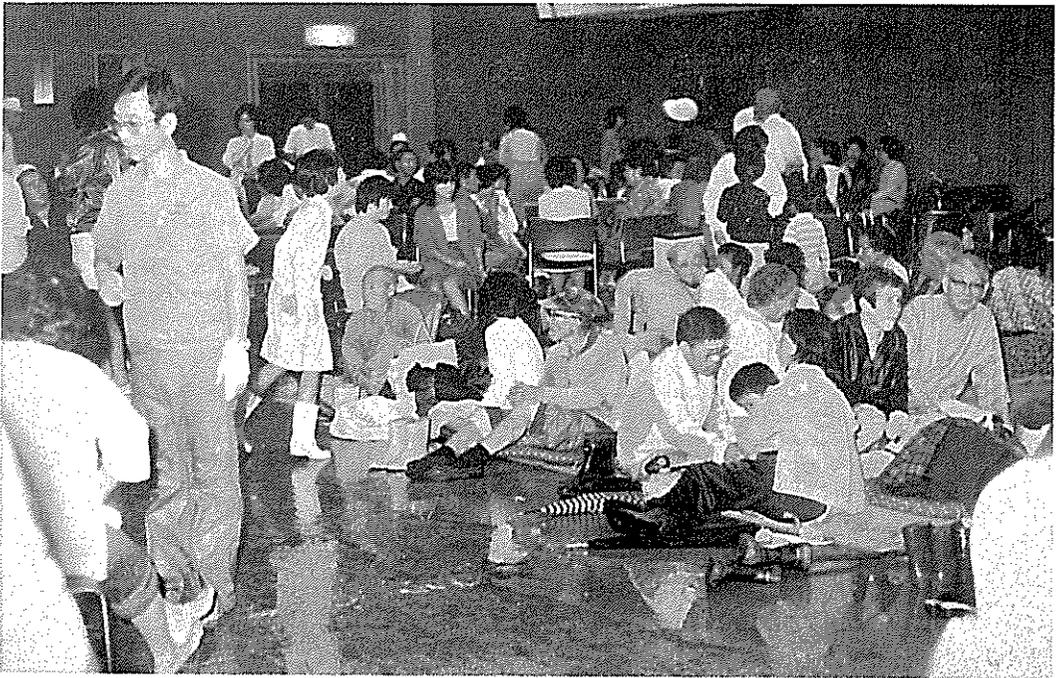
美濃加茂市



美濃加茂市



美濃加茂市



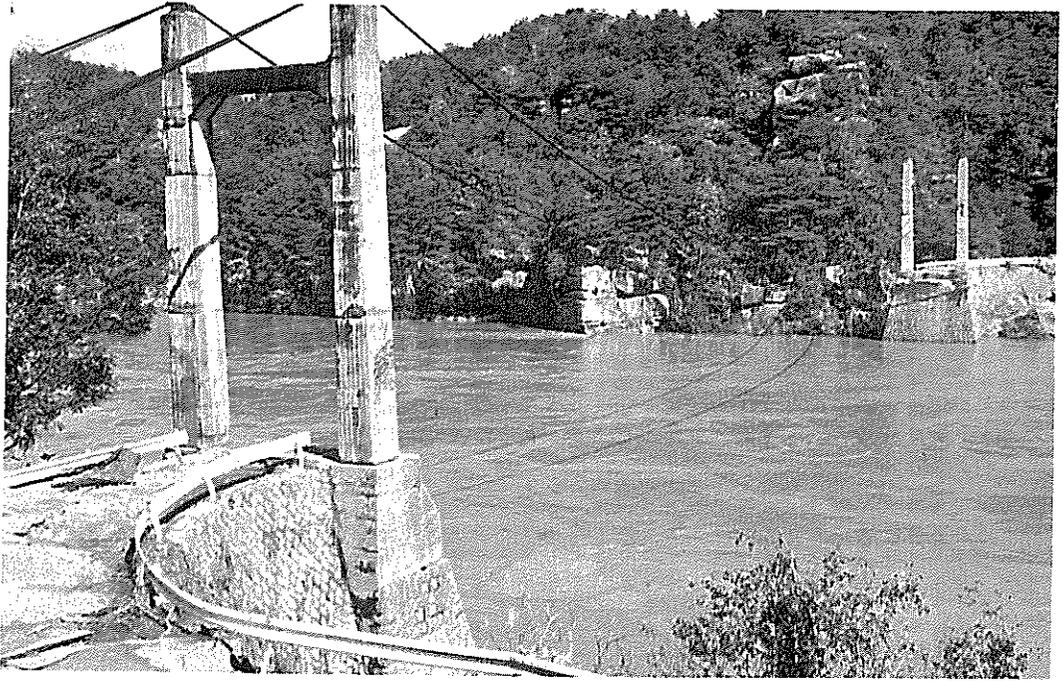
美濃加茂市



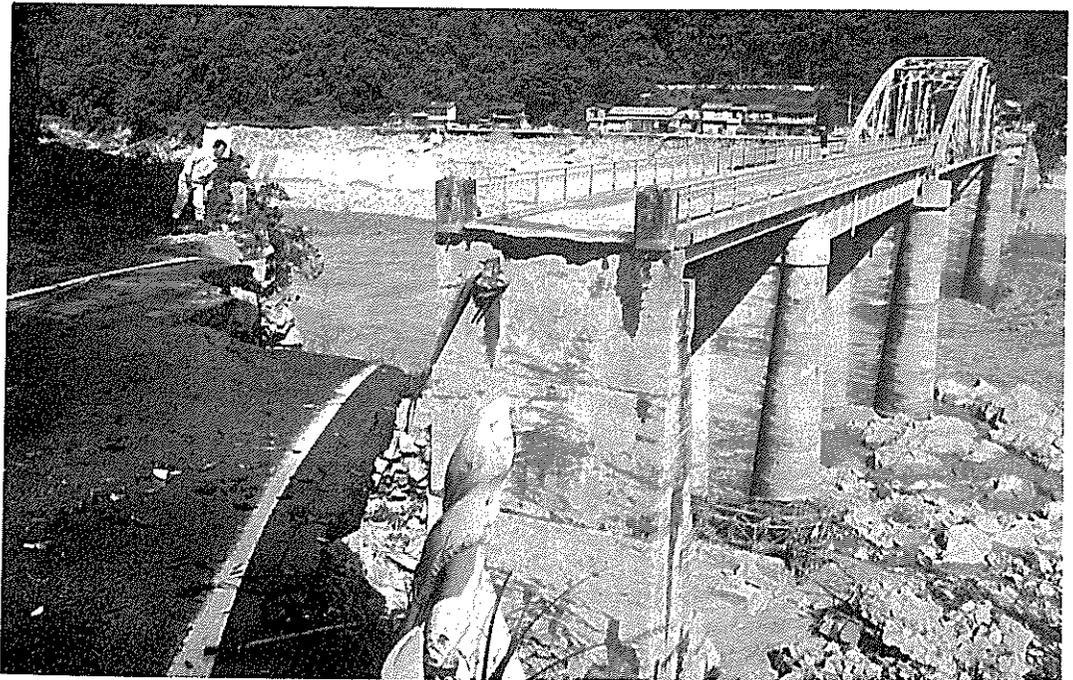
坂 祝 町



中津川市



中津川市



恵那市



上矢作町



山岡町



山 岡 町



高 山 市



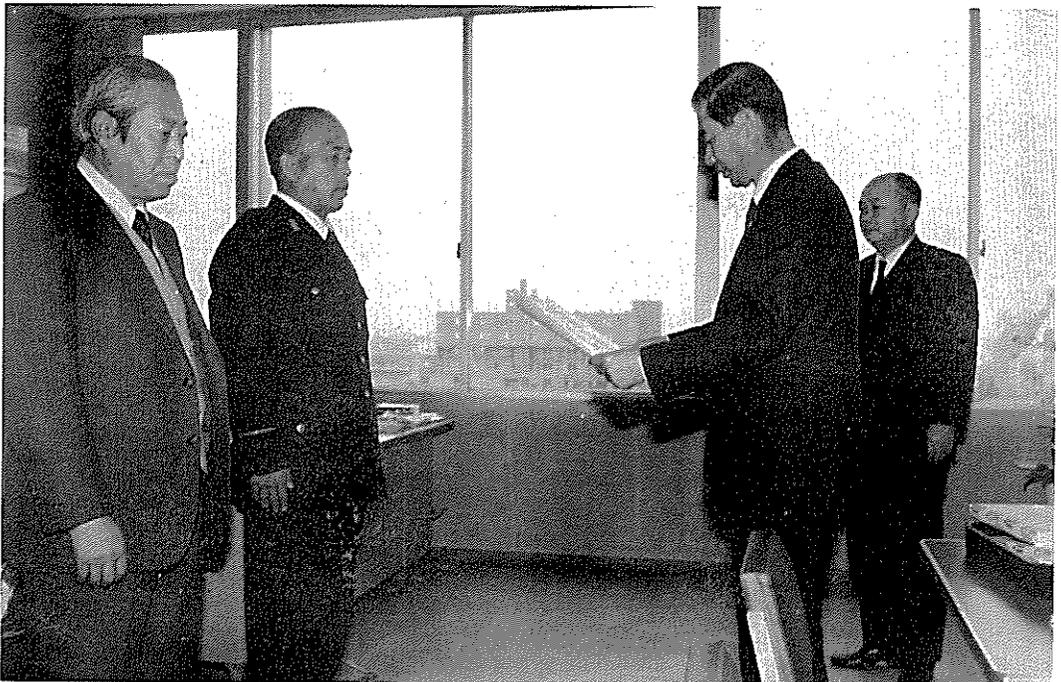
宮川村



高根村



県 庁



県 庁



美濃加茂市

目 次

1	気象の概要	1
(1)	気象の経過及び特性	1
ア	経 過	1
イ	特 性	1
	図1 地上天気図	2
(2)	降雨の状況	2
ア	概 況	2
	表1 各地の降水量	3
	図2 総降水量分布図	4
(3)	気象通報等の発表状況	4
	表2 注意報、警報、情報の発表	4
	表3 警報の内容	4
	表4 水防警報の発表状況	5
	図3 木曾川（犬山）の水位及び今渡ダムの放流量	5
	図4 美濃加茂市、坂祝町の浸水状況図	6
2	被害の状況	8
	一般被害状況	8
	表5 総合被害状況	8
	表6 人的被害	9
	表7 住家等被害	10
	表8 社会福祉施設被害	12
	表9 医療衛生施設被害	12
	表10 商工業関係被害	13
	表11 観光施設被害	15
	表12 農業関係被害	15
	表13 林業関係被害	17
	表14 土木関係被害	20
	表15 文教関係被害	21
	表16 県有財産被害	21
3	応急対策の状況	22

(1) 災害対策本部	22
ア 県災害対策本部	22
表17 県災害対策本部の推移	23
イ 県災害対策本部支部	23
ウ 県議会災害対策委員会	24
エ 市町村災害対策本部	25
表18 市町村災害対策本部設置状況	25
(2) 災害救助法の適用及び救助活動	25
災害救助法適用市町村名及び適用日時	25
表19 救助の種類	26
(3) 県災害対策本部各部の活動	26
ア 総務部	26
表20 県税の減免等処理状況	27
イ 民生部	27
表21 知事見舞金の支給	27
表22 災害弔慰金の支給	27
表23 災害援護資金の貸付	28
表24 義えん金の受領及び配分	28
表25 義えん品の受領及び配分	28
ウ 衛生環境部	29
表26 飲料水給水状況	29
表27 し尿収集状況	29
表28 防疫活動の状況	30
表29 検病調査の状況	31
エ 商工労働部	31
オ 農政部、林政部	31
カ 土木部	31
キ 教育委員会	32
表30 休校の状況	32
表31 給食の中止状況	32
表32 教科書補給状況	32
表33 被災生徒の経済的負担の軽減	32
(4) 資機材の調達	32

表34	美濃加茂市における資機材の調達状況	32
表35	県広域防災センター備蓄資機材の貸付状況	33
(5)	交通の状況	33
ア	道路の通行止	33
表36	日別規制状況	33
表37	全面通行止一覧表	33
イ	鉄道の運休	37
表38	鉄道運休一覧表	37
(6)	避難命令の状況	37
表39	避難命令の状況	37
4	防災関係機関の活動	38
(1)	自衛隊	38
(2)	警察本部	38
表40	岐阜県警察災害警備本部の設置及び活動状況	38
(3)	消防職団員	38
表41	消防団員の活動状況	39
表42	消防職員の活動状況	40
(4)	東海郵政局	41
表43	無償郵便はがき等の交付	41
表44	簡易保険の非常取扱	41
(5)	日本電信電話公社	41
表45	電話の故障	41
表46	臨時公衆電話の設置	41
(6)	国鉄	41
表47	高山本線不通に伴う代行バス運転	41
表48	施設等被害	41
(7)	中部電力	42
表49	電力の被害	42
(8)	日本赤十字社	42
表50	救援物資の取扱	42
表51	義えん金取扱状況	42
5	災害関係予算	43

表52 県の災害対策にかかる予算措置状況	43
6 激甚災害の指定	44
表53 激甚災害指定に伴い適用される措置の概要	47
7 視察、陳情	49
(1) 視 察	49
(2) 陳 情	49
8 表 彰	55
知事感謝状	55

1 気象の概要

(1) 気象の経過及び特性

ア 経 過

(ア) 9月19日9時、トラック島付近の海上に発生した「弱い熱帯低気圧」は西北西に進みながら次第に発達し、20日21時にグアム島の南南西約280kmの海上で台風第10号(中心気圧998mb、中心付近の最大風速20m/s)となった。

(イ) 台風はその後、急速に発達しながら北西に進み、23日9時には沖縄の南東約1,000kmの海上で、中心気圧885mb、中心付近の最大風速55m/sの猛烈な台風発達し、この台風の最盛期となった。

(ウ) 台風は更に、15~20km/hの速さで北西進を続け、25日21時には大型で非常に強い勢力(中心気圧915mb、最大風速55m/s)で那覇市の南西約170kmの海上に達し、その後はやや速度を落として東シナ海を北西に進んだ。

沖縄県の各地では25日から26日にかけて暴風雨となった。

(エ) 台風は26日から27日にかけて、東シナ海北部で、向きを大きく北から東よりに変え、次第に弱まりながら東進し、28日10時20分ころ長崎市付近に上陸した。28日10時には中心気圧975mb、最大風速30m/sであった。

(オ) 台風は九州上陸後は更に弱まりながら、速度をはやめて東に進み、九州中部を横断して28日15時には高知県宿毛市付近で温帯低気圧(中心気圧985mb)となった。その後、この低気圧は更にスピードを上げて本州の南海上を東進し、29日9時には関東地方の東約450kmの海上に進んだ(中心気圧990mb)。

(カ) 台風の北上に伴って、日本の南海上に停滞していた前線が25日から活発となり、九州から関東地方の太平洋側を中心に強い雨が降り始めた。特に26日から27日にかけて、九州と四国を中心に大雨となり、28日は台風(及び台風から変った低気圧)の通過により四国から関東までの広い地域で大雨となった。

(岐阜地方气象台)

イ 特 性

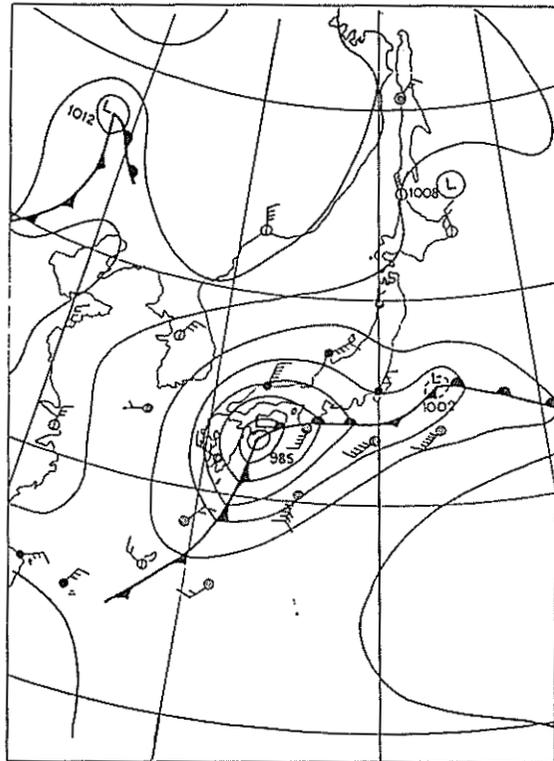
(ア) 台風第10号は19日の熱帯低気圧として発生以来、約1週間にわたってほぼ北西方向に進み続け、25日に南西諸島を横切った後もそのまま進み、27日早朝には東シナ海中部に達した。

(イ) 27日昼前からは大きく向きを東よりに変え、次第に加速しながら九州を横断した後、四国南西部で温帯低気圧に変わり、更にその後は本州の南岸沿いにほとんど真東に進むという特徴ある経路を通った。

(ウ) 27日から28日にかけては、台風及びこれから変わった温帯低気圧の接近、通過とそれ以前から日本の南岸沿いに停滞していた前線の活発化が相まって各地に大雨を降らせ大きな水害をもたらした。雨台風の性格が強かった。

(エ) 県下では、飛騨地方及び東濃地方で特に雨量が多く、高山市を流れる川上川の堤防を削り、東濃では木曾川が増水し、美濃加茂市及び坂祝町で、堤防を乗り越え大きな災害をもたらした。

図 1 地上天気図 (昭和58年9月28日15時)



(2) 降雨の状況

ア 概況

日本の南岸に停滞していた秋雨前線は、台風の北上とともに次第に活発化し、9月26日夜から降りだした県下の雨は、27日明け方ごろからやや強くなり美濃地方の山間

部で1時間10mm前後の雨が降り出した。

その後、午後から夜半にかけて一たん弱くなり、1時間に2～3mm多い所で6～7mm程度の雨になったものの28日明け方ごろから再び強くなり、飛騨地方を中心に1時間15mmに達する雨が降り出した。

更に低気圧の接近とともに午後からは県下全域で強く降り、1時間に20mmを超える所も現われ始め、夕刻には所により40mmを超え、多治見市では15時から16時の1時間に64mmに達した。

この強い雨域は次第に東に移動して、21時までの1時間雨量は中津川市で、47mm 恵那市で42mmを記録した。

その後、雨は次第に弱まり24時間前にほとんどやんだ。

表 1 各地の降水量

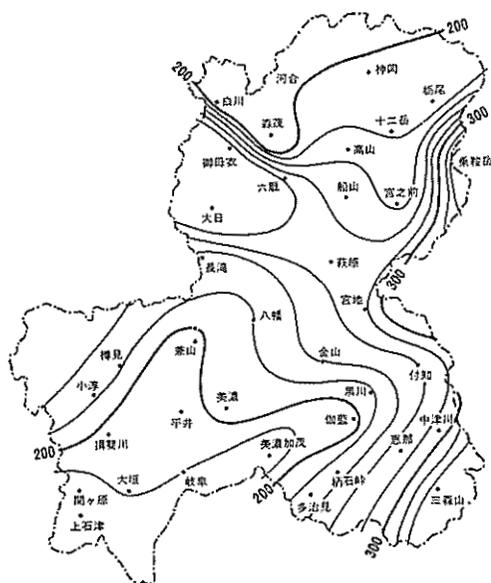
観測所 (市町村)	27日	28日	合計	1時間最大 (起日/時)	観測所 (市町村)	27日	28日	合計	1時間最大 (起日/時)
岐阜 (岐阜市)	85	97	182	20(28/16)	大日 (高鷺村)	77	215	292	27(28/16)
大垣 (大垣市)	89	99	188	15(28/15)	伽藍 (八百津町)	70	119	289	20(28/15)
高山 (高山市)	47	187	234	21(28/16)	黒川 (白川町)	73	144	217	23(28/16)
多治見 (多治見市)	53	170	223	64(28/16)	付知 (付知町)	81	178	259	25(28/20)
中津川 (中津川市)	69	225	294	47(28/21)	萩原 (萩原町)	57	208	265	29(28/17)
三森 (")	64	279	343	52(28/18)	宮地 (下呂町)	63	217	280	34(28/16)
美濃 (美濃市)	77	136	213	25(28/19)	金山 (金山町)	71	177	248	45(28/16)
柄石 (瑞浪市)	63	159	222	40(28/16)	十二岳 (丹生川村)	46	168	214	17(28/15) 16)
恵那 (恵那市)	65	207	272	42(28/21)	乗鞍 (")	91	249	340	24(28/17)
美濃加茂 (美濃加茂市)	59	103	162	18(28/15)	森見 (荷見村)	38	128	166	14(28/16)
上石津 (上石津町)	67	99	166	18(28/15)	六之 (荘川村)	68	212	280	23(28/16)
関ヶ原 (関ヶ原町)	76	89	165	11(28/15)	白川 (白川村)	44	141	185	19(28/15)
小津 (久瀬村)	84	149	233	14(27/9) 28/5)	御母 (")	66	218	284	26(28/15)
樽見 (根尾村)	66	157	223	17(28/14)	船山 (久々野町)	54	194	248	22(28/15)
平井 (伊自良村)	71	121	192	13(28/15)	宮前 (朝日村)	54	183	237	35(28/17)
蕪山 (坂取村)	58	142	200	12(28/14)	河合 (河合村)	40	159	199	31(28/16)
八幡 (八幡町)	49	167	216	18(28/19)	神岡 (神岡町)	42	168	210	27(28/16)
長滝 (白鳥町)	62	171	233	19(28/16)	栃尾 (上宝村)	54	164	218	15(28/16)

(資料：岐阜地方気象台)

図 2 総降水量分布図

(昭和58年9月27日・28日)

(単位mm)



(資料：岐阜地方気象台)

(3) 気象通報等の発表状況

表 2 注意報、警報、情報の発表

種 別	発 表 時 刻
大雨洪水注意報	9月27日10時50分
大雨に関する情報	20時40分
〃 第2号	28日10時00分
大雨洪水警報	11時20分
台風第10号に関する情報	13時50分
〃 第2号	16時30分
大雨に関する情報第3号	18時45分
〃 第4号	21時35分
洪水警報	22時30分
洪水注意報(美濃)	29日8時20分
〃 解除	15時30分

(岐阜地方気象台発表)

表 3 警報の内容

標 題	発 表 日 時	内 容
大雨洪水警報	昭和58年9月28日 11時20分	<p>大雨洪水注意報を、大雨洪水警報に切り替えます。台風第10号が当地方に近づいており、前線の活動も活発となってきています。このため、県下全域で、これから明日の朝にかけて短時間に強い雨を伴う大雨が降りましょう。</p> <p>今後明朝までの降雨量は100~150mm、所により200~250mmに達する見込です。</p> <p>このため、低地の浸水、河川の増水、中小河川のはん濫、山崩れ、がけ崩れの起こる恐れがあります。</p> <p>連日來の降雨で地盤が緩んでいますので、特に山崩れ、がけ崩れには警戒してください。</p> <p>厳重に警戒してください。なお、今後の気象通報に十分注意してください。</p>
洪水警報	昭和58年9月28日 22時30分	<p>大雨洪水警報を洪水警報に切り替えます。大雨の心配は無くなりましたが、木曾川、長良川などで増水が続いています。この状態はまだしばらく続きます。</p> <p>厳重に警戒してください。</p>

表 4 水防警報の発表状況

区 分	発 表 時	解 除 時	区 分	発 表 時	解 除 時
庄内川土岐水防警報第1号(準備)	9.28 16:00	—	木曾川犬山水防警報第4号(情報)	20:40	—
木曾川今渡 " 第1号(")	16:30	—	木曾川笠松 " 第2号(出動)	20:50	—
庄内川多治見 " 第1号(")	16:35	—	長良川墨俣 " 第1号(準備)	21:00	—
庄内川 " " 第2号(出動)	17:05	9.29 0:40	庄内川土岐 " 第3号(情報)	21:20	—
庄内川土岐 " 第2号(")	17:15	—	木曾川 起 " 第2号(出動)	21:30	—
木曾川犬山 " 第1号(")	18:00	—	長良川忠節 " 第2号(情報)	23:10	9.29 1:30
木曾川今渡 " 第2号(出動)	18:00	—	長良川墨俣 " 第2号(")	23:20	4:40
木曾川犬山 " 第2号(")	18:50	—	長良川成戸 " 第1号(準備)	9.29 0:10	4:10
長良川忠節 " 第1号(準備)	19:10	—	庄内川土岐 " 第4号(情報)	0:20	2:15
木曾川今渡 " 第3号(情報)	19:30	—	木曾川犬山 " 第5号(")	0:50	7:00
木曾川犬山 " 第3号(")	19:40	—	木曾川今渡 " 第5号(")	0:50	12:00
木曾川笠松 " 第1号(準備)	20:00	—	木曾川笠松 " 第3号(")	3:10	8:30
木曾川 起 " 第1号(")	20:20	—	木曾川 起 " 第3号(")	4:00	8:30
木曾川今渡 " 第4号(情報)	20:30	—			

図 3 木曾川(犬山)の水位及び今渡ダムの放流量

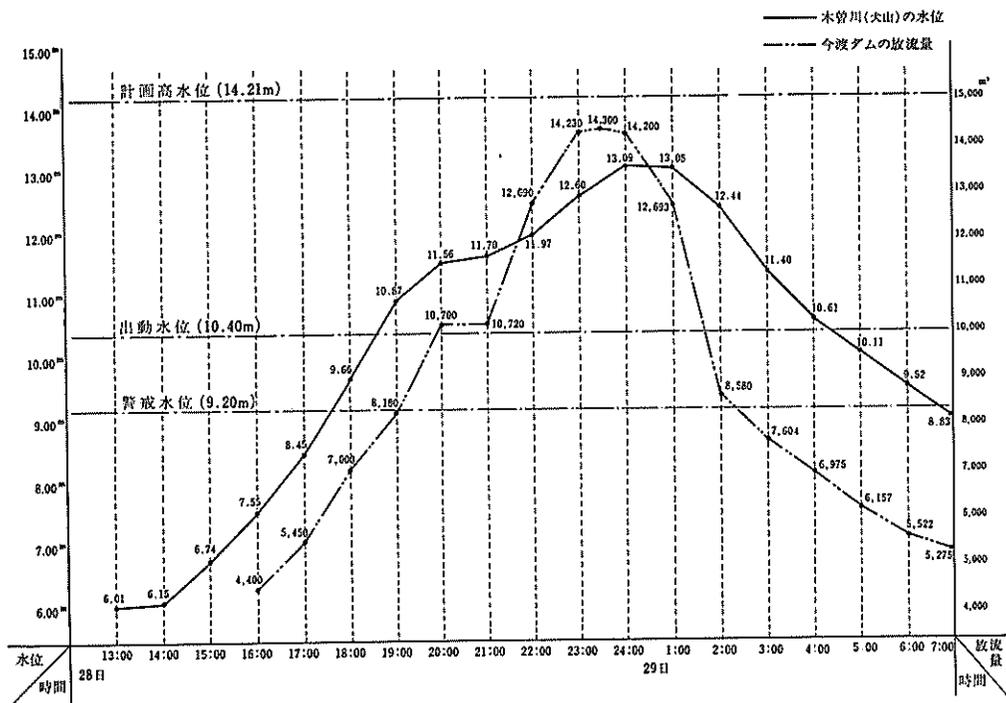
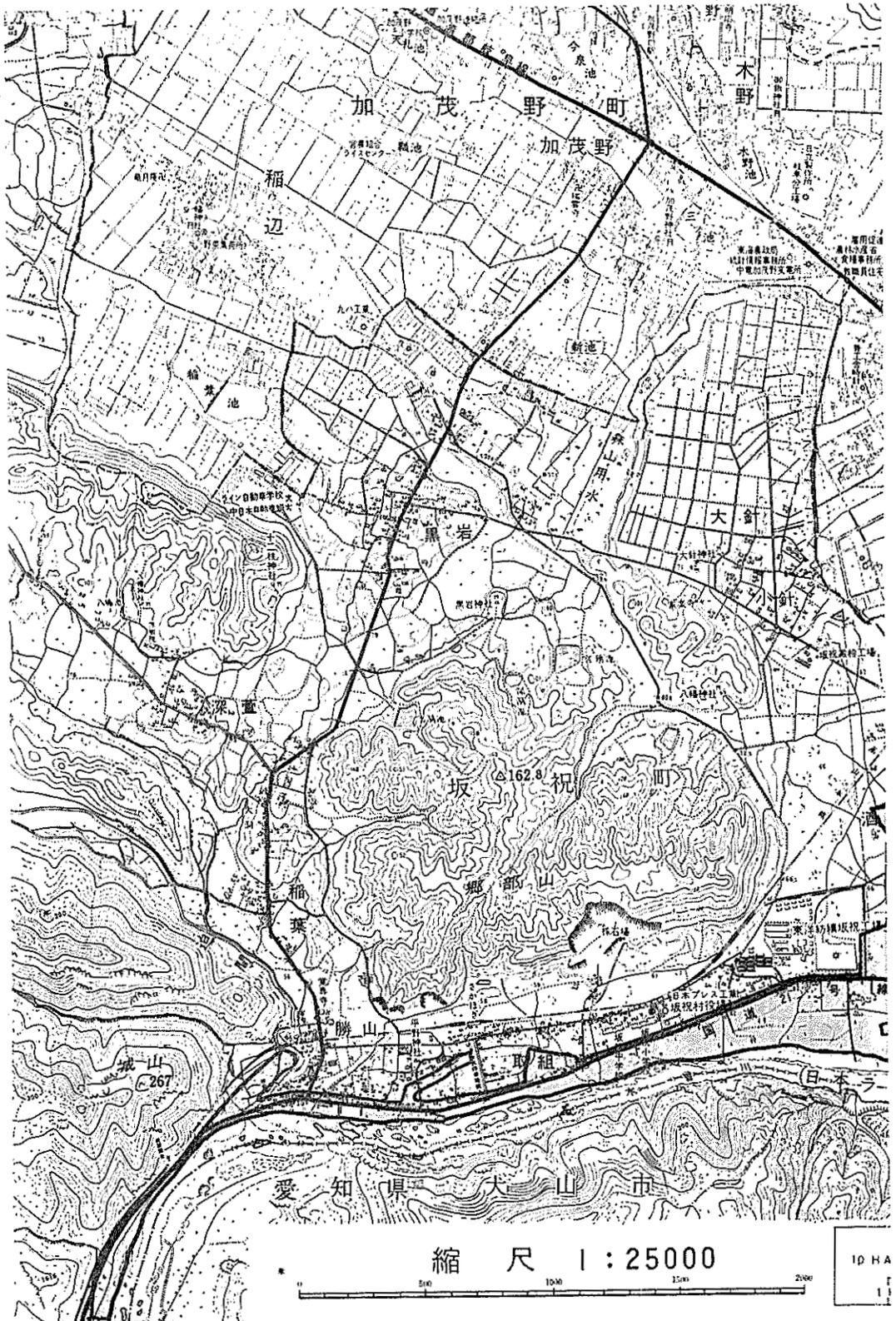
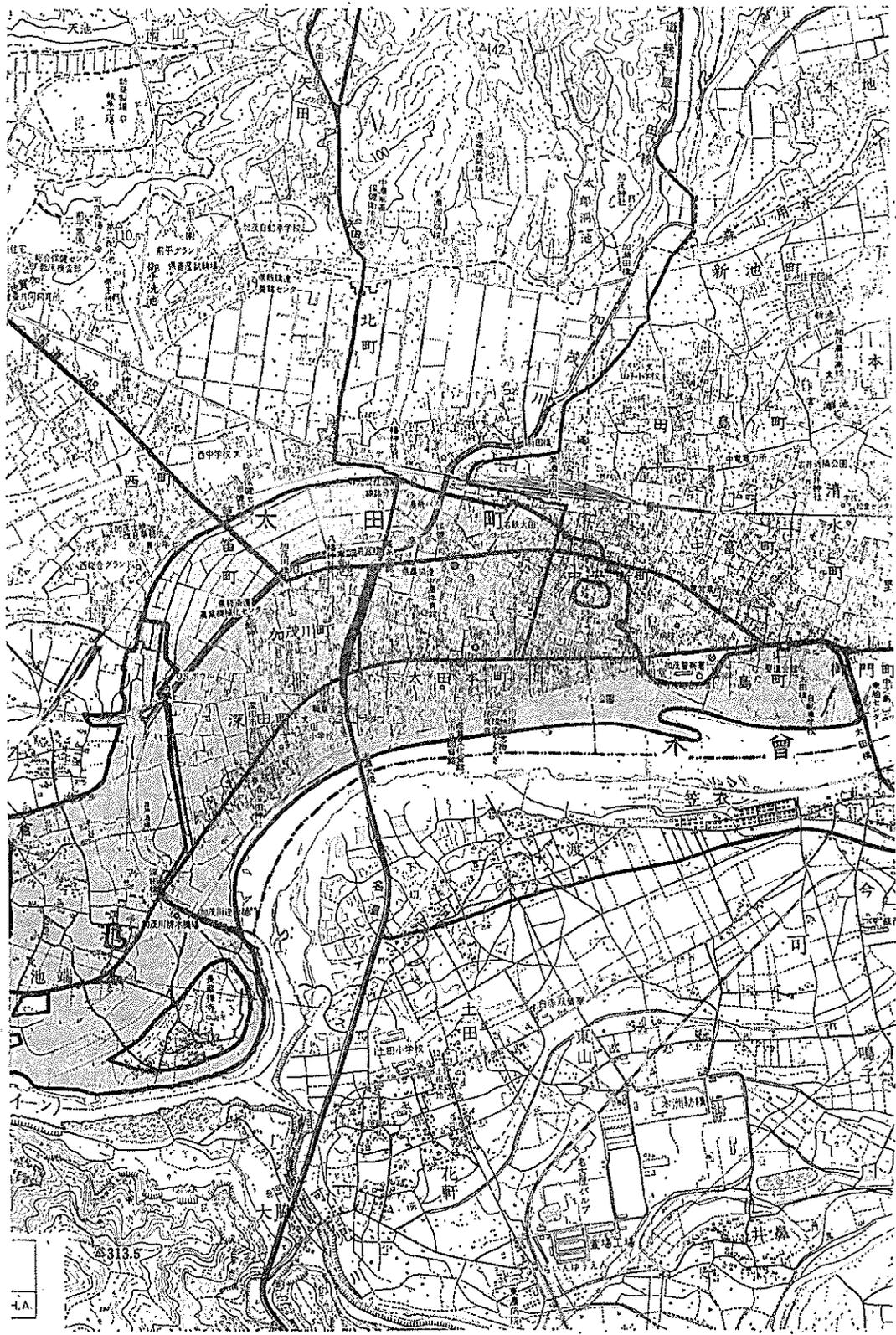


図 4 美濃加茂市、坂祝町の浸水状況図





2 被害の状況

一般被害状況

今回の災害では、土木、商工業関係を中心に大きな被害をうけ、被害総額では別表のとおり 527 億円余に上り昭和51年9・12豪雨災害の被害総額 1,040 億円余に次ぐものとなった。

主な被害の内訳をみると、住家の被害では災害救助法が適用された美濃加茂市、坂祝町が大きく美濃加茂市では総世帯数の約15%、坂祝町では総世帯数の約12%が被害を受けた。

また商工業関係では被害額で 133 億円余となり、美濃加茂市、坂祝町に被害が集中している。一方、土木関係では被害額 221 億円余、林業関係では被害額86億円余で共に恵那地域での被害が多かった。

表 5 総合被害状況

(金額単位 千円)

被害区分		数量	被害額	被害区分	数量	被害額			
住宅等一般	り災総数 人命	棟世人 数帯員	4,589 棟 3,546 世帯 13,286 人	住宅等一般	住家 一部破損 棟世人被害	16 棟 16 世帯 60 人	— — 1,600		
		死行重腫 方不者明傷	4 人 1 人 2 人 2 人			非住家 棟被害	2,116 棟 —	— 211,600	
		全壊	8 棟 7 世帯 28 人						被害額計
	家	住	流失	1 棟 1 世帯 3 人	社会福祉施設	施設うち 2 棟	5 施設 — 19,717		
			半壊	19 棟 19 世帯 78 人	医療衛生施設	施設うち 23 棟	71 施設 — 473,230		
		床上浸水	棟世人被害	数帯員 2,803 棟 1,914 世帯 7,082 人	— — 1,914,000	商工業関係	件被害 うち建物	1,816 件 — 1,151 棟	— — 13,357,247
						観光施設	件被害 うち建物	38 件 — 1 棟	— — 191,767
		床下浸水	棟世人被害	数帯員 1,742 棟 1,589 世帯 6,035 人	— — 158,900	農業関係	施設等 共同利用 非共同利用 地方公共団体	16カ所 34カ所 1カ所	12,581 8,357 1,000
	農作物等						農作物 樹	— —	366,078 3,239

被害区分		数量	被害額	被害区分		数量	被害額
農業関係	農作物等	家畜等 冠浸水	— — 711 ha	4,657 22,208 —	土木関係	河川(公共)	2,782カ所 15,315,645
	水産	施設	9カ所 —	5,120 24,243		砂防(公共)	275カ所 1,177,280
	耕地	農地(公共)	(167.7ha) 1,945カ所	1,580,000		道路(公共)	958カ所 4,798,542
		施設(公共)	—	2,887,000		橋梁(公共)	39カ所 871,273
	被害額計			4,914,483		都市施設災害	12カ所 30,991
被害額計			4,914,483	被害額計		22,193,731	
林業関係	林産施設	山林施設	— — 671カ所 9カ所 85.54 ha 576カ所 18棟	224,021 172,669 7,180,200 114,631 82,068 913,634 —	文教関係	施設費 被害額	45施設 — 18棟 — 442,956 —
	建物被害	被害	—	—		県有財産	件被 その 害他 建物
被害額計			8,687,223	被害額計			8,687,223
被害額合計				52,708,869			

表 6 人的被害

市町村名	死名	行方不明	負傷		計
			重傷	軽傷	
中津川市	2	—	—	—	2
恵那市	1	—	—	—	1
美濃加茂市	1	—	1	—	2
可児市	—	—	—	2	2
蛭川村	—	1	—	—	1
下呂町	—	—	1	—	1
合計	4	1	2	2	9

表 7 住家等被害

市町村名	住 家 被 害																		非住家被害	
	全 壊			流 失			半 壊			床 上 浸 水			床 下 浸 水			一 部 破 損			倉庫土蔵等	官公庁舎等
	棟数	世帯数	人員	棟数	世帯数	人員	棟数	世帯数	人員	棟数	世帯数	人員	棟数	世帯数	人員	棟数	世帯数	人員		
大 垣 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	5	—	—	—	—	—
高 山 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	6	23	40	40	120	—	—	—	2	—
多 治 見 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	5	46	46	186	3	3	13	33	—
関 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	8	—	—	—	—	—
中 津 川 市	1	1	7	—	—	—	5	5	22	18	18	71	155	155	519	1	1	1	18	—
美 濃 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	—	—
瑞 浪 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	10	38	81	81	334	1	1	3	49	—
恵 那 市	—	—	—	—	—	—	1	1	4	19	19	69	250	169	629	4	4	16	26	—
美濃加茂市	—	—	—	—	—	—	4	4	12	2,424	1,565	5,807	165	107	377	—	—	—	1,376	46
土 岐 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	19	42	42	151	1	1	4	15	—
各 務 原 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	8	17	2	2	7	—	—	—	4	7
可 児 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	12	66	8	8	38	—	—	—	9	—
川 島 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5	28	—	—	—	—	—
笠 松 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—
和 良 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	5	—	—	—	—	—
坂 祝 町	4	3	14	1	1	3	7	7	31	195	166	609	54	72	310	—	—	—	288	5
七 宗 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	9	—	—	—	4	—
八 百 津 町	1	1	1	—	—	—	1	1	4	17	16	43	12	11	29	1	1	3	45	—
白 川 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16	16	65	35	35	127	—	—	—	5	2
御 嵩 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	7	34	—	—	—	—	—
笠 原 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	20	65	—	—	—	—	—
坂 下 町	1	1	1	—	—	—	—	—	—	2	2	4	182	182	635	—	—	—	23	—
川 上 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	9	—	—	—	—	—
付 知 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	11	—	—	—	—	—

福岡町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	43	43	178	—	—	—	5	—
姪川村	—	—	—	—	—	—	1	1	5	2	2	6	95	80	332	—	—	—	—	—
岩村町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	2	68	52	211	—	—	—	18	—
山岡町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	6	20	55	55	211	3	3	16	14	2
明智町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	15	44	44	179	—	—	—	—	—
串原村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	6	22	—	—	—	—	—
上矢作町	1	1	5	—	—	—	—	—	—	4	4	20	16	16	59	—	—	—	2	—
萩原町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	11	36	32	32	137	—	—	—	11	—
小坂町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	5	23	14	14	57	—	—	—	16	—
下呂町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	19	19	66	126	126	516	—	—	—	24	—
金山町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	27	27	106	—	—	—	13	—
丹生川村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	4	—	—	—	—	—
宮野村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	16	—	—	—	3	—
久々野町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	9	43	—	—	—	7	2
朝日村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	8	5	5	19	1	1	2	4	—
高根村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	7	23	—	—	—	3	1
古川町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13	13	46	47	47	166	—	—	—	16	—
国府町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17	17	76	—	—	—	10	3
河合村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	24	—	—	—	1	—
宮川村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	4	—	—	—	1	—
神岡町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—
上宝村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3	16	—	—	—	—	—
合計	8	7	28	1	1	3	19	19	78	2,803	1,914	7,082	1,742	1,589	6,035	16	16	60	2,047	68

表 8 社会福祉施設被害

(単位 千円)

施設名	所在地	被害額
精神薄弱者更生施設 泉立はなの木苑	土岐市	300
特別養護老人ホーム 万年青苑	恵那市	300
養護老人ホーム 恵那市恵光園	恵那市	5,600
市立太田第一保育所	美濃加茂市	8,900
加茂学園(保育所)	美濃加茂市	4,617
計		19,717

表 9-1 医療衛生施設被害

(単位：千円)

市町村名	医療	水道	公衆衛生	計	市町村名	医療	水道	公衆衛生	計
高山市	—	—	(1) 500	(1) 500	萩原町	—	(1) 200	—	(1) 200
多治見市	—	(1) 200	—	(1) 200	小坂町	—	(3) 2,000	—	(3) 2,000
中津川市	—	(2) 2,430	—	(2) 2,430	下呂町	(1) 1,000	(2) 500	—	(3) 1,500
恵那市	—	(2) 11,140	—	(2) 11,140	丹生川村	—	(2) 200	—	(2) 200
美濃加茂市	(20) 366,700	—	(6) 23,000	(26) 389,700	清見村	—	(1) 1,500	—	(1) 1,500
土岐市	—	(2) 300	—	(2) 300	久々野町	—	(1) 30	—	(1) 30
各務原市	—	(1) 0	—	(1) 0	朝日村	—	(2) 450	—	(2) 450
坂祝町	(1) 3,000	—	—	(1) 3,000	高根村	—	(3) 680	—	(3) 680
八百津町	—	(1) 200	—	(1) 200	古川町	—	—	(1) 500	(1) 500
福岡町	—	(3) 300	—	(3) 300	国府町	—	(1) 1,800	—	(1) 1,800
岩村町	—	(2) 25,000	—	(2) 25,000	河合村	—	(2) 800	—	(2) 800
山岡町	—	(2) 14,000	—	(2) 14,000	上宝村	—	(2) 2,300	—	(2) 2,300
明智町	—	(1) 500	—	(1) 500					
串原村	—	(1) 5,000	—	(1) 5,000	計	(22) 370,700	(41) 78,530	(8) 24,000	(71) 473,230
上矢作町	—	(3) 9,000	—	(3) 9,000					

() は被害棟数

表 9-2 水道被害

市町村名	水道名	断水戸数	断水期間
多治見市	上水道	10戸	9月28日～9月29日
恵那市	〃	70	〃
土岐市	〃	23	9月28日
〃	鶴里簡易水道	303	9月28日～9月29日
福岡町	福岡	570	〃
〃	高山	100	9月28日～9月30日
〃	田瀬	60	9月28日～9月29日
岩村町	飯羽	250	〃

市町村名	水道名	断水戸数	断水期間
山岡町	原	150	9月28日～9月29日
串原村	大平	84	〃
上矢作町	中島	210	〃
〃	鎌瀬	20	9月28日～10月3日
小坂町	坂下	115	9月28日～9月29日
〃	湯屋	45	〃
丹生川村	中央	8	〃
清見村	牧ヶ洞	4	〃
久々野町	大西	64	〃
朝日村	秋神	9	〃
高根村	日和田	87	〃
〃	上ヶ洞	42	〃
〃	野麦	23	〃
国府町	上水道	17	〃
上宝村	一重ヶ根簡易水道	95	〃
〃	本郷簡易水道	364	9月28日～9月29日
計		2,534	

表 10-1 商工業関係被害

(単位：千円)

区分	一般被害							共同施設被害		被害計		うち建物被害			
	建物、施設				製品、商品、仕掛品			件数	被害額	件数	被害額	被害棟数	浸水建物		
	全失		その他		件数	被害額	床上						床下		
	件数	被害額	件数	被害額											
中小企業業者	工業	繊維	1	2,000	12	35,170	9	28,500	—	—	22	65,670	15	13	2
		機械金属	—	—	38	755,995	24	989,010	—	—	62	1,745,005	56	45	11
		木工	—	—	21	127,560	15	173,650	—	—	36	301,210	41	40	1
		紙	—	—	8	7,630	4	3,600	—	—	12	11,230	11	7	4
		陶磁器	—	—	41	32,100	22	21,005	—	—	63	53,105	49	5	44
	その他	1	2,000	53	414,750	30	89,070	—	—	84	505,820	62	48	14	
	商業	2	9,300	590	3,116,083	532	1,904,610	—	—	1,124	5,029,993	663	591	71	
	鉱業	—	—	11	33,680	5	1,900	—	—	16	35,580	9	7	2	
	サービス業	—	—	147	1,749,360	82	408,790	—	—	229	2,158,150	144	132	12	
	その他	—	—	37	174,866	24	100,958	6	20,000	67	295,824	44	40	4	
計	4	13,300	958	6,447,194	747	3,721,093	6	20,000	1,715	10,201,587	1,094	928	165		
その他の事業者	工業	繊維	—	—	—	—	—	1	14,000	1	14,000	1	1	—	
		機械金属	—	—	2	3,300	1	20,000	—	—	3	23,300	3	3	—
		紙	—	—	2	305,000	—	—	—	—	2	305,000	—	—	—
		その他	—	—	1	488,000	1	100,000	—	—	2	588,000	1	1	—
	商業	—	—	38	467,630	36	977,600	—	—	74	1,445,230	38	38	—	
	サービス業	—	—	7	610,930	3	4,500	—	—	10	615,430	7	7	—	
	その他	—	—	7	124,700	2	40,000	—	—	9	164,700	7	7	—	
計	—	—	57	1,999,560	43	1,142,100	1	14,000	101	3,155,660	57	57	—		
合計	4	13,300	1,015	8,446,754	790	4,813,193	7	34,000	1,816	13,357,247	1,151	985	165		

表 10-2

(単位：千円)

区 分	工 業		商 業		そ の 他		計	
	件数	被害額	件数	被害額	件数	被害額	件数	被害額
多 治 見 市	12	4,460	—	—	—	—	12	4,460
中 津 川 市	5	335,000	1	1,000	—	—	6	336,000
瑞 浪 市	31	16,050	38	2,890	6	1,250	75	20,190
恵 那 市	4	1,050,500	26	4,350	—	—	30	1,054,850
美 濃 加 茂 市	84	1,497,835	948	5,699,893	226	2,675,970	1,258	9,873,698
土 岐 市	18	15,600	17	5,950	7	1,300	42	22,850
各 務 原 市	1	14,000	—	—	3	5,500	4	19,500
可 児 市	1	40,000	4	1,950	5	246,500	11	288,450
川 島 町	2	11,400	—	—	—	—	2	11,400
八 幡 町	—	—	—	—	2	2,000	2	2,000
坂 祝 町	34	335,070	85	696,280	33	255,354	152	1,286,704
七 宗 町	—	—	1	3,320	—	—	1	3,320
八 百 津 町	7	15,930	—	—	—	—	7	15,730
白 川 町	5	2,800	23	8,340	5	5,760	33	16,900
御 嵩 町	1	0	—	—	—	—	1	0
兼 山 町	—	—	—	—	1	1,500	1	1,500
笠 原 町	13	2,295	—	—	—	—	13	2,295
坂 下 町	6	102,050	—	—	2	16,000	8	118,050
岩 村 町	2	4,000	1	200	—	—	3	4,200
山 岡 町	24	65,990	—	—	6	7,980	30	73,970
明 智 町	1	5,000	2	2,000	—	—	3	7,000
上 矢 作 町	—	—	2	10,000	—	—	2	10,000
萩 原 町	8	62,900	4	17,100	3	9,990	15	89,990
小 坂 町	—	—	—	—	2	1,000	2	1,000
下 呂 町	8	1,850	22	9,900	24	35,430	54	47,180
金 山 町	6	2,100	13	2,270	2	1,150	21	5,520
久 々 野 町	4	2,260	2	280	—	—	6	2,540
古 川 町	10	25,250	6	5,800	2	2,500	18	33,550
宮 川 村	—	—	3	3,700	—	—	3	3,700
神 岡 町	—	—	—	—	1	500	1	500
計	287	3,612,340	1,198	6,475,223	331	3,269,684	1,816	13,357,247

表11 観光施設被害

(単位 千円)

市町村名	施設名	被害の状況	被害額	市町村名	施設名	被害の状況	被害額		
中津川市	根の上高原 川上スケート場 遊覧船場	サイクリング ロード欠陥外	850	山岡町	東海自然歩道外	路面流出	2,000		
		土砂流入	100,000			小計	2,000		
		床上浸水	500	明賀町	東海自然歩道	路面流出	100		
小計			101,350	小計			100		
恵那市	恵那峡 東海自然歩道	遊園地土砂崩 れ外	52,100	下呂町	観光やな外	一部流出外	1,500		
		路面流出外	6,500			小計	1,500		
小計			58,600	古川町	観光やな 古川スキー場外	一部流出 ゲレンデ流出外	5,000 3,500		
可児市	渡船場	待合所流出	6,500			小計			8,500
		小計				6,500	国府町	宇津工四十八滝	歩道流出外
春日村	東海自然歩道	路面流出外	3,800	小計					900
		小計			3,800	宮川村	観光やな 青少年旅行村	一部流出 照明施設流出	800 3,200
八幡町	観光やな	一部流出	2,000	小計				4,000	
		小計			2,000			神岡町	観光やな
岩村町	東海自然歩道 熊洞キャンプ場	路面流失 土砂崩壊	316 201	小計			2,000		
		小計			517	計			

表 12-1 農業関係被害

(単位：千円)

1. 農作物等				2. 農地、農業用施設								
(1) 農作物、家畜等				(2) 施設関係								
区分	数量	被害額		区分	件数	被害額						
農作物	水稲	767.6 t	228,523	耕種関係 園芸関係 畜産関係 蚕糸関係 その他	4件	1,500	農田 畑	流出	1,557	117.31 ^{ha}	1,139,500	
	豆類	21.1 t	6,056		9件	1,604		埋没	261	41.51 ^{ha}	308,000	
	野菜	1,113.7 t	108,400		21件	9,350		流出	98	6.64 ^{ha}	117,000	
	果樹	15.0 t	6,506		11件	2,770		埋没	29	2.24 ^{ha}	15,500	
	花き	20千本	806		6件	6,714		小計	1,945	167.70 ^{ha}	1,580,000	
	工芸作物	22.2 t	4,861	(3) 水産関係				農業用施設	溜池	21	—	43,000
	桑	(まゆ換算) 2.7 t	6,253	漁船 養殖施設	5件	870	頭首工		325	—	1,075,000	
	飼料作物	387.4 t	4,673		4件	4,250	水路		837	—	1,155,000	
	小計	—	366,078	小計	9件	5,120	揚排水機		3	—	8,000	
	樹体	桑樹・茶樹	4.8ha 0.3ha	2,486 753	食用鯉 ニジマス (成魚) ニジマス (稚魚) アマゴ	9.0 t	4,865		道路	290	—	417,000
家畜等	家畜・畜産物 蚕繭	— 1.6 t	916 3,741	21.5 t		13,500	橋梁	35	—	189,000		
	小計	—	4,657	377千匹		4,283	小計	1,511	—	2,887,000		
在庫品	—	22,208	1.45 t	1,595	計	3,456	—	4,467,000				
小計	—	396,182	小計	—	24,243	合計	—	—	4,914,483			
計	—	396,182	計	—	29,363							

表 12-2

(単位：千円)

市町村名	農産	畜産	蚕業	水産	耕地		被害額合計	
					農地	施設		
高山市	39,744	—	—	—	1.67	61,000	97,000	197,744
多治見市	3,013	—	—	—	0.01	1,000	14,000	18,013
関市	—	—	—	—	—	—	24,000	24,000
中津川市	49,428	3,526	385	—	35.00	223,000	471,000	747,339
美濃市	—	—	—	—	0.01	2,000	4,000	6,000
瑞浪市	12,801	—	—	—	2.40	23,000	36,000	71,801
恵那市	10,857	—	321	3,240	18.30	139,000	295,000	448,418
美濃加茂市	56,197	284	5,820	—	1.50	18,000	2,000	82,301
土岐市	4,913	—	—	—	—	—	11,000	15,913
可児市	31,938	1,570	—	—	3.09	34,000	46,000	113,508
上石津町	—	—	—	—	0.32	5,000	4,000	9,000
久瀬村	—	—	—	—	0.07	3,000	—	3,000
藤橋村	—	—	—	—	0.13	2,000	—	2,000
本巣町	—	—	—	—	0.07	2,000	10,000	12,000
根尾村	—	—	—	—	0.02	1,000	—	1,000
洞戸村	—	—	—	—	—	—	3,000	3,000
板取村	—	—	—	—	—	—	6,000	6,000
上之保村	—	—	—	—	0.38	6,000	11,000	17,000
八幡町	—	—	—	—	—	—	3,000	3,000
白鳥町	—	—	—	—	—	—	2,000	2,000
高鷲村	—	—	—	—	0.20	5,000	—	5,000
美並村	—	—	—	—	—	—	10,000	10,000
明方村	—	—	—	—	0.20	2,000	5,000	7,000
和良村	—	—	—	—	—	—	2,000	2,000
坂祝町	45,413	3,890	6,947	—	0.70	3,000	3,000	62,250
川辺町	2,370	—	—	100	0.02	1,000	1,000	4,470
七宗町	651	—	—	—	0.19	8,000	6,000	14,651
八百津町	4,904	910	—	2,390	1.65	14,000	6,000	28,204
白川町	10,201	—	—	—	1.12	36,000	35,000	81,201
御嵩町	325	—	—	—	0.02	1,000	16,000	17,325
笠原町	302	—	—	—	—	—	4,000	4,302
坂下町	5,923	—	387	—	3.20	13,000	28,000	47,310
川上村	355	—	—	—	—	—	6,000	6,355
加子母村	—	—	—	—	—	—	1,000	1,000
付知町	59	—	—	—	—	—	2,000	2,059
福岡町	5,914	—	23	—	8.10	44,000	36,000	85,937
姪川村	2,723	52	23	—	6.00	16,000	63,000	81,798
岩村町	7,104	100	1,205	—	6.20	76,000	138,000	222,409
山岡町	9,031	500	579	—	28.50	204,000	250,000	464,110
明智町	3,731	—	—	—	3.90	66,000	80,000	149,731
串原村	4,168	—	—	250	3.40	52,000	28,000	84,418

市町村名	農業	畜産	蚕業	水産	耕地			被害額計
					田	畑	施設	
上矢作町	5,747	210	386	—	6.50	105,000	87,000	198,343
萩原町	8,028	—	—	9,800	1.20	13,000	60,000	90,828
小坂町	1,379	—	—	603	0.35	20,000	3,000	24,982
下呂町	1,882	150	—	1,320	1.12	53,000	127,000	183,352
金山町	1,118	—	570	—	1.56	12,000	24,000	37,688
馬瀬村	—	—	—	—	0.05	1,000	—	1,000
丹生川村	1,838	—	—	—	3.45	24,000	49,000	74,838
清見村	10,312	1,910	—	—	0.15	4,000	36,000	52,222
宮村	—	—	—	—	0.14	3,000	5,000	8,000
久々野町	851	600	—	—	0.15	5,000	46,000	52,451
朝日村	1,757	828	—	—	2.35	24,000	52,000	78,585
高根村	1,175	493	—	—	—	—	6,000	7,668
古川町	25,053	—	70	—	5.00	35,000	311,000	371,123
国府町	4,818	—	—	—	3.60	34,000	119,000	157,818
河合村	1,096	200	—	—	0.75	14,000	43,000	58,296
宮川村	1,456	—	—	11,660	0.20	4,000	15,000	32,116
神岡町	3,205	—	—	—	14.00	156,000	141,000	300,205
上宝村	4,401	—	—	—	0.76	12,000	4,000	20,401
合計	386,181	15,223	16,716	29,363	167.70	1,580,000	2,887,000	4,914,483

表13-1 林業関係被害

(単位：千円)

区分		数量	被害額	備考	区分	数量	被害額					
林産物	木材関係	4,055m ³	224,003	くり50kg	山地治山施設	9カ所	114,631					
	特産関係	—	18		区分	面積	被害額					
	計		224,021		森林被害	85.54ha	82,068					
林産施設	木材関係	6カ所	167,840	しいたげほだ木 12,160本	区分	路線数	箇所数	延長	被害額			
	特産関係	—	4,829		林	公共道路 うち橋	163 7	350 7	15,512 72	880,926 31,470		
山地	新生崩壊地	カ所	被害状況		道	小災害	道路	24,609	32,708			
			箇所	溪流						山腹	被害額	
	拡大崩壊地	49	32.63 0.93	52.94 7.53	6,584,800 595,700	道	計	道路 うち橋	269 7	576 7	40,121 72	913,634 31,470
	計	671	33.56	60.47	7,180,200	被害額計				8,687,223		

表13-2

(単位：千円)

市町村名	林産物	林産施設	森林被害		建物被害	山地		治山施設		林道		計
	被害額	被害額	数量	被害額		数量	被害額	数量	被害額	数量	被害額	
高山市	—	—	3.13	2,950	—	20	270,500	—	—	37	78,501	351,951
多治見市	—	—	0.35	470	—	11	18,900	—	—	4	14,462	33,832
中津川市	24,637	—	13.83	7,803	—	73	1,414,900	4	53,944	88	172,653	1,673,937
美濃市	—	—	—	—	—	4	33,000	—	—	—	—	33,000
瑞浪市	—	—	0.27	135	—	10	99,900	—	—	2	2,120	102,155
恵那市	42,432	—	8.61	6,023	—	22	347,800	—	—	14	33,678	429,933
美濃加茂市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1,068	1,068
土岐市	—	—	0.22	530	—	5	16,000	—	—	8	12,419	28,949
可児市	6,700	18,300	0.05	10	2	—	—	—	—	2	4,022	29,032
関ヶ原町	—	—	—	—	—	1	3,000	—	—	—	—	3,000
谷汲村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	1,770	1,770
久瀬村	—	—	—	—	—	1	3,000	—	—	4	6,860	9,860
坂内村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,426	1,426
徳山村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	4,815	4,815
根尾村	—	—	—	—	—	1	5,000	—	—	—	—	5,000
上之保村	—	300	—	—	—	—	—	—	—	—	—	300
高鷲村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,641	1,641
明方村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	3,944	3,944
坂祝町	39,500	16,000	—	—	4	—	—	—	—	—	—	55,500
川辺町	—	—	—	—	—	1	6,000	—	—	—	—	6,000
八百津町	50,000	130,400	—	—	12	1	15,000	—	—	—	—	195,400
白川町	—	—	0.02	11	—	12	100,000	—	—	7	4,200	104,211
東白川村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	180	180
御嵩町	—	48	0.10	21	—	1	5,000	—	—	1	2,062	7,131
笠原町	—	—	—	—	—	1	2,500	—	—	—	—	2,500

坂下町	224	—	0.20	189	—	9	19,600	—	—	2	180	20,193
川上村	—	—	0.56	767	—	7	45,200	—	—	5	11,972	57,939
加子母村	—	—	—	—	—	3	16,000	—	—	2	3,015	19,015
付知町	475	—	0.22	170	—	3	18,500	—	—	5	4,634	23,779
福岡町	930	—	0.35	265	—	12	25,000	—	—	10	4,972	31,167
蛭川村	90	—	0.05	124	—	8	8,000	—	—	5	1,727	9,941
岩村町	15,355	—	3.90	945	—	26	388,900	1	8,515	13	42,562	456,277
山岡町	1,291	—	2.20	2,071	—	25	192,100	1	13,187	20	20,556	229,205
明智町	4,400	—	12.00	9,951	—	53	216,100	2	20,490	20	18,019	268,960
串原村	189	—	1.54	1,448	—	8	96,600	—	—	21	14,813	113,050
上矢作町	37,780	3,140	28.47	24,162	—	168	1,951,500	—	—	62	221,877	2,238,459
萩原町	—	—	0.28	369	—	20	206,100	—	—	6	3,051	209,520
小坂町	18	3,950	0.76	887	—	12	100,000	1	18,495	9	4,680	128,030
下呂町	—	—	0.93	10,800	—	22	170,500	—	—	39	29,774	211,074
金山町	—	—	1.38	1,848	—	5	27,000	—	—	11	11,884	40,732
馬瀬村	—	—	0.14	407	—	5	29,000	—	—	3	240	29,647
丹生川村	—	—	—	—	—	11	45,500	—	—	17	30,368	75,868
清見村	—	—	—	—	—	12	156,000	—	—	6	2,436	158,436
宮野村	—	—	—	—	—	10	18,500	—	—	7	1,831	20,331
久々野町	—	—	—	—	—	15	147,500	—	—	12	4,391	151,091
朝日村	—	—	1.72	1,689	—	6	59,400	—	—	13	17,530	78,619
高根村	—	—	—	—	—	15	140,000	—	—	2	5,212	145,212
古川町	—	—	—	—	—	18	184,500	—	—	50	34,515	219,015
国府町	—	—	—	—	—	18	238,700	—	—	20	13,422	252,122
河合村	—	231	—	—	—	—	—	—	—	18	46,094	46,325
宮川村	—	300	—	—	—	6	90,000	—	—	1	7,569	97,869
神岡町	—	—	—	—	—	6	109,500	—	—	5	7,120	116,620
上宝村	—	—	4.26	8,023	—	4	140,000	—	—	2	4,169	152,192
合 計	224,021	172,669	85.54	82,068	18	671	7,180,200	9	114,631	576	913,634	8,622,467

注：○印は特産関係

表 14-1 土木関係被害

(単位：千円)

土 木 事 務 所	県 工 事					市 町 村 工 事				計
	河 川	砂 防	道 路	橋 梁	小 計	河 川	道 路	橋 梁	小 計	
岐 阜	(21) 178,500	—	(5) 49,000	—	(26) 227,500	—	(2) 3,300	—	(2) 3,300	(28) 230,800
大 垣	(3) 40,000	(1) 15,000	—	—	(4) 55,000	—	—	—	—	(4) 55,000
掛 斐	(2) 5,100	(2) 2,620	(2) 7,500	—	(6) 15,220	—	—	—	—	(6) 15,220
美 濃	(15) 235,700	(5) 5,652	(5) 18,800	—	(25) 260,152	(8) 9,439	(7) 10,870	—	(15) 20,309	(40) 280,461
八 幡	(12) 22,500	(5) 14,500	(11) 25,359	—	(28) 62,359	(5) 13,030	(2) 7,200	—	(7) 20,230	(35) 82,589
加 茂	(131) 754,231	(10) 15,300	(30) 53,244	—	(171) 822,775	(36) 69,265	(37) 120,474	—	(73) 189,739	(244) 1,012,514
多治見	(81) 401,033	(64) 155,987	(16) 138,241	(2) 17,000	(163) 712,261	(134) 280,133	(42) 68,649	—	(176) 348,782	(339) 1,061,043
恵 那	(686) 4,447,655	(112) 739,900	(181) 1,839,200	(2) 425,100	(981) 7,451,855	(566) 1,976,608	(271) 828,304	(22) 282,135	(859) 3,087,047	(1,840) 10,538,902
萩 原	(107) 664,188	(43) 118,391	(29) 176,607	—	(179) 959,186	(150) 344,991	(38) 116,066	(2) 44,134	(190) 505,191	(369) 1,464,377
高 山	(233) 2,200,530	(27) 90,830	(77) 615,000	(1) 1,500	(338) 2,907,860	(77) 303,457	(86) 313,627	(2) 37,000	(165) 654,084	(503) 3,561,944
古 川	(415) 2,970,160	(6) 19,100	(65) 255,300	—	(486) 3,244,560	(100) 399,125	(52) 151,801	(8) 64,404	(160) 615,330	(646) 3,859,890
計	(1,706) 11,919,597	(275) 1,177,280	(421) 3,178,251	(5) 443,600	(2,407) 16,718,728	(1,0766) 3,396,048	(537) 1,620,291	(34) 427,673	(1,647) 5,444,012	(4,054) 22,162,740

()は箇所数

表14-2 都市施設被害

(単位：千円)

区 分	市 町 村 名	箇所数	被害額
公 園	岐 阜 市	3カ所	3,426
	美濃加茂市	1	300
	各務原市	1	100
	笠松町	2	4,863
	八百津町	1	8,000
	小 計	8	16,689
都 下 下 水 道	美濃加茂市	2	1,050
	小 計	2	1,050
公 共 下 水 道	恵 那 市	1	1,000
	小 計	1	1,000
堆積土砂排除事業	美濃加茂市	1	12,252
	小 計	1	12,252
計		12	30,991

表15 文教関係被害

(単位：千円)

市町村名	小学校		中学校		高等学校		その他		計	
	施設名	被害額	施設名	被害額	施設名	被害額	施設名	被害額	施設数	被害額
岐阜市							グラウンド	3,320	1	3,320
高山市	岩滝小外1	800			斐太高	60			3	860
多治見市							永保寺庭園	1,260	1	1,260
中津川市			坂本中外1	3,200					2	3,200
瑞浪市					端浪高	500			1	500
羽島市							グラウンド外2	4,849	3	4,849
恵那市							グラウンド外1	7,700	2	7,700
美濃加茂市	太田小	79,610					脇本陣外8	250,186	10	329,796
川島町							グラウンド	700	1	700
岐南町							グラウンド	40,614	1	40,614
笠松町					岐阜工高	4,538	グラウンド外3	14,065	5	18,603
坂祝町			坂祝中	470					1	470
八百津町							蘇水公園外1	5,420	2	5,420
兼山町							兼山湊跡	800	1	800
岩村町					岩村高	300	岩村城跡	8,600	2	8,900
山岡町	山岡小	7,326	山岡中	840					2	8,166
明智町	吉田小	800							1	800
串原村	串原小	800							1	800
下呂町			下呂中	1,500					1	1,500
清見村	大原小	500							1	500
朝日村	朝日小	100							1	100
古川町					吉城高	3,000			1	3,000
宮川村	坂下小	1,098							1	1,098
計	9施設	91,034	5施設	6,010	5施設	8,398	26施設	337,514	45施設	442,956

表16 県有財産被害

(単位：千円)

区分	被害状況	数量	被害額
庁舎	床下浸水	2	4,600
公舎	床上浸水	3	1,758
その他の建物	全壊	1	200
	床上浸水	1	150
	一部破損	1	3,000
敷地	流失外		10,342
その他		5	9,365
計			29,419

3 応急対策の状況

(1) 災害対策本部

ア 県災害対策本部

㊦ 県災害対策本部の設置

昭和58年9.28 災害の応急対策を推進するため、9月29日0時「岐阜県災害対策本部」を設置した。

岐阜県災害対策本部の設置について

昭和58年台風第10号とそれに伴う豪雨に際し、応急対策実施のため、岐阜県地域防災計画に基づいて「岐阜県災害対策本部」を下記により設置した。

記

1. 本部設置の日時
昭和58年9月29日0時
2. 本部設置の場所
県庁2階大会議室
3. 本部の構成
本部長：知事
副本部長：副知事
本部員：各部(局)長、出納長、教育長、警察本部長

(イ) 本部員会議

日時 昭和58年9月29日8時30分

場所 4階特別会議室

出席者 本部長、副本部長、本部員

協議・報告事項 ・ 県災害対策本部の設置について
・ 災害救助法の適用について
・ 災害の名称について
・ 被害の状況について
・ 雨量及び木曾川の水位について
・ その他

(ウ) 9.28 災害の反省会

- 日 時 昭和58年11月 8 日11時
- 場 所 水産会館第1会議室
- 出席者 県災害対策本部本部連絡員、消防防災課職員、厚生援護課職員、可茂県事務所職員
- 協議事項 ・被害状況の報告及び反省事項
 ・災害誌の作成について
 ・防災功労者の表彰について
 ・その他

表17 県災害対策本部の推移

月	日	時 刻	内 容
9月28日	(水)	19:45	本部連絡員会議開催(於 総務部長室)
		23:55	美濃加茂市に災害救助法適用
29日	(木)	0:00	県災害対策本部設置(本部室は大会議室)
		1:00	本部連絡員会議開催(於 総務部長室) 各部情報収集指示
		6:25	坂祝町に災害救助法適用
		8:30	県災害対策本部員会議開催(於 4階特別会議室) 本部連絡員と消防防災班は本部室で執務
30日	(金)	17:15	自民党災害対策特別委員長増岡参議院議員外現地視察・知事現地で陳情
10月1日	(土)	12:30	本部連絡員は本部室引き揚げ、各部局で執務。消防防災班は引き続き本部室で執務
4日	(火)	17:15	消防防災課へ本部室を移転
17日	(月)		} 災害対策本部副本部長及び本部員、関係省庁へ陳情
18日	(火)		
31日	(月)	17:00	県災害対策本部閉鎖
11月8日	(火)	11:00	9.28 災害の反省会開催(於 水産会館)

イ 県災害対策本部支部

(ア) 可茂支部

支部設置の日時

昭和58年9月29日0時

支部閉鎖の日時

昭和58年10月31日17時

支部員会議の開催

a 第1回

日 時 昭和58年9月29日8時40分

出席者 支部長（県事務所長）及び支部員（関係出先機関の長）

協議事項 ・被害状況の把握について
・災害応急対策について
・その他

b 昭和58年9月30日から10月5日にかけて6回にわたり支部員会議を開催し、応急対策の実施について協議した。

(イ) 恵那支部

支部の設置

設置せず

支部員会議の開催

日時 昭和59年9月29日9時

出席者 支部長（県事務所長）及び支部員（関係出先機関の長）

協議事項 ・支部設置検討について
・被害状況の把握について
・災害応急対策について
・その他

(ウ) 飛騨支部

支部の設置

設置せず

支部員会議の開催

a 第1回

日時 昭和58年9月28日17時

出席者 支部長（県事務所長）、次長及び関係課長

協議事項 ・情報収集の方法について
・警戒体制について
・その他

b 9月29日から10月20日にかけて5回にわたり支部員会議を開催し、応急対策の実施について協議した。

ウ 県議会災害対策委員会

委員会の設置の日時 昭和58年9月29日

委員会の解散の日時 昭和58年10月31日

委員会の構成

委員長 本田秋広県議会議長

副委員長 清水昇治県議会副議長

構成員 県議会議員全員

活動

災害地視察

エ 市町村災害対策本部

表18 市町村対策本部設置状況

市町村名	設置日時		閉鎖日時		市町村名	設置日時		閉鎖日時	
	月日	時分	月日	時分		月日	時分	月日	時分
高山市	9.28	10:55	9.28	23:30	上矢作町	9.28	11:20	9.29	13:00
多治見市	9.28	16:20	10.1	12:00	萩原町	9.28	16:30	9.29	17:00
中津川市	9.28	18:05	10.13	17:00	小坂町	9.28	16:30	9.29	17:00
瑞浪市	9.28	17:30	9.29	1:00	下呂町	9.28	16:30	9.29	17:00
恵那市	9.28	17:50	10.13	17:00	金山町	9.28	17:00	9.28	22:00
美濃加茂市	9.28	19:15	12.28	17:00	清見村	9.28	15:00	10.3	8:30
土岐市	9.28	17:00	9.29	0:00	荘川村	9.28	15:30	9.28	22:00
坂祝町	9.28	19:30	12.28	17:00	宮村	9.28	13:00	9.28	22:40
白川町	9.28	19:00	9.30	13:00	朝日村	9.28	16:55	9.30	17:00
笠原町	9.28	16:15	9.28	23:30	高根村	9.28	17:15	10.1	12:00
坂下町	9.28	16:50	9.29	1:00	古川町	9.28	15:10	9.29	18:00
加子母村	9.28	16:00	9.28	23:30	国府町	9.28	11:00	9.29	17:30
福岡町	9.28	16:00	9.28	22:00	河舎村	9.28	16:30	10.1	12:00
蛭川村	9.28	16:30	10.8	12:00	宮川村	9.28	11:30	9.29	17:00
岩村町	9.28	17:05	9.28	23:30	神岡町	9.28	17:00	9.29	17:00
山岡町	9.28	16:50	9.29	0:30	上宝村	9.28	14:00	9.28	23:00
計	32市町村（7市15町10村）								

(2) 災害救助法の適用及び救助活動

災害救助法適用市町村名及び日時

美濃加茂市 昭和58年9月28日 23時55分

坂祝町 昭和58年9月29日 6時25分

表19 救助の種類

救助の種類	項目	実施状況		災害救助費		
		美濃加茂市	坂祝町	美濃加茂市	坂祝町	合計
避難所の設置及び収容	開設期間	9月28日19時 ～10月4日 6	9月28日19時 ～9月29日 2	円	円	円
	箇所数 収容人員	延1,864人	延1,312人	166,474	11,280	177,754
炊出しその他による食品の給与	炊出し期間	9月29日 ～10月3日 5	9月28日 ～10月4日 9			
	箇所数 炊出し等人員	延14,220人	延3,779人	1,222,859	572,340	1,795,199
飲料水の供給	給水期間	9月29日 ～10月4日 1	9月29日 ～10月2日 3			
	供給地区数 実人員 水量	940人 38,000ℓ	12人 180ℓ	43,307	0	43,307
被服寝具その他生活必需品の給与	給与期間	10月1日 ～10月4日 1,569世帯	10月2日 ～10月7日 177世帯			
	世帯数 地点数	24,163	2,944	13,877,352	1,908,400	15,785,752
り災者の救出	救出月日	9月28・29日	9月28・29日			
	地区 人員	太田 545人	取組、勝山、酒倉 43人	540,000	10,000	550,000
学用品の給与	教科書	給与期間 生徒数	10月3日～8日 776人	9月30日 25人		
	文房具等	給与期間 生徒数 物品の種類	10月12日 821人 文房具(5種)、 通学用品(2種)	10月12日 89人 文房具(5種)、 通学用品(2種)	4,364,064	290,087
障害物の除去	除去期間 世帯数	9月30日 ～10月1日 17世帯	9月29日 ～10月3日 20世帯	1,065,900	766,700	1,832,600
輸送	使用期間 車両数	9月29日 ～10月12日 延73台	9月29日 ～10月6日 延4台	207,240	149,860	357,100
事務費				2,148,720	370,866	2,519,586
計				23,635,916	4,079,533	27,715,449

災害救助費については算定基準による算定額
市町村繰替支弁分、県支出分の合計

(3) 県災害対策本部各部の活動

ア 総務部

税政

災害を受けた者の納めるべき県税については、被災の程度に応じて申告、申請及び納税などの期限の延長、個人の県民税及び事業税、不動産取得税、自動車税及び自動車取得税、県税の徴収猶与並びに県税の納入義務の免除等、負担の軽減措置を講じた。

表20 県税の減免等処理状況 (昭和58年12月末現在)

(単位：千円)

区 分	減 免		納 期 限 延 長		徴 収 猶 与	
	件 数	税 額	件 数	税 額	件 数	税 額
県民税 {個人個人}	2,250	18,641	13	270	2	52
事業税 {個人個人}	64	972	13	670	2	202
料理飲食等消費税			7	515	9	782
自動車税	92	1,056				
自動車取得税	88	542				
軽油引取税			2	6,218	4	7,152
合 計	2,494	21,211	35	7,673	17	8,188

イ 民生部

表21 知事見舞金の支給

支給基準

人的被害	死 亡 者	1人当	50,000円
	重 傷 者	1人当	20,000円
住家被害	全 壊、流 失	1世帯当	20,000円
	半壊、床上浸水	1世帯当	10,000円

支給額

(単位：千円)

区 分	世帯数、 人 数	支 給 額
住家被害	全 壊	7 140
	流 失	1 20
	半 壊	19 190
	床上浸水	1,914 ※19,190
小 計	1,941	19,540
人的被害	死 者	5 250
	重 傷	2 40
	小 計	7 290
計		19,830

※生活保護世帯（1世帯当り15,000円）10世帯を含む。

表22 災害弔慰金の支給

(単位：千円)

市 町 村 名	世 帯 主 の 死 亡		そ の 他 の 者 の 死 亡		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
中 津 川 市	—	—	2	3,000	2	3,000
恵 那 市	1	3,000	—	—	1	3,000
美 濃 加 茂 市	1	0	—	—	1	0
鯉 川 村	1	3,000	—	—	1	3,000
計	3	6,000	2	3,000	5	9,000

注：美濃加茂市の死者については災害弔慰金支給対象となる人がいないため支給していない。

表23 災害援護資金の貸付

(単位：千円)

市町村名	全 壊		半 壊		家財の損害		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
中津川市	1	1,800	2	1,600	—	—	3	3,400
美濃加茂市	—	—	2	1,600	388	231,800	390	233,400
坂祝町	—	—	4	3,000	21	12,600	25	15,600
上矢作町	1	1,800	—	—	—	—	1	1,800
計	2	3,600	8	6,200	409	244,400	419	254,200

表24 義えん金の受領及び配分

受領内訳

(単位：円)

年月日	氏名	金額
昭和58. 9. 30	愛知県	500,000
10. 1	東京芝浦電気株式会社	1,000,000
10. 1	三重県	500,000
10. 3	匿名	870,000
10. 6	御嵩町日赤奉仕団	30,000
10. 7	セブンスデーアドベンチスト教団	200,000
10. 7	(財)田口福寿会	1,000,000
10. 22	岐阜県配置医薬品協議会東濃支部	20,000
10. 24	北海道	300,000
11. 17	岐阜県職員組合	300,000
12. 6	岐阜県連合婦人会	2,000,000
12. 6	関西電力株式会社(東海支社)	500,000
12. 15	岐阜県職員組合	617,870
12. 16	岐阜県中小企業同友会	300,000
計		8,137,870

配分内訳

(単位：円)

区分	単価	人数、世帯数	配分額	
人的被害	死者	30,000	4	120,000
	行方不明	30,000	1	30,000
	重傷	15,000	2	30,000
	小計		7	180,000
住家被害	全壊	12,000	7	84,000
	流失	12,000	1	12,000
	半壊	6,000	19	114,000
	床上浸水	4,000	1,914	7,656,000
小計		1,941	7,866,000	
調整配分			91,870	
計		1,948	8,137,870	

表25 義えん品の受領及び配分

受領内訳

年月日	氏名	数	量
昭和58. 9. 29	岐阜花王製品販売(株)	石けん、洗剤類	228箱 1,000千円相当
10. 1	ライオン株式会社名古屋支店	"	250箱 1,300千円相当
10. 3	山下陽一	衣類	5梱包 160千円相当
10. 4	株式会社資生堂	石けん、洗剤類	24梱包 300千円相当
合計			2,760千円相当

配分内訳

年月日	配分先	数	量
昭和58. 9. 30	美濃加茂市 坂祝町	石けん、洗剤類 〃	201箱 27箱
10. 1	美濃加茂市 坂祝町	石けん、洗剤 〃	220箱 30箱
10. 5	美濃加茂市	衣類	5梱包
10. 5	美濃加茂市 坂祝町	石けん、洗剤類 〃	21梱包 3梱包

ウ 衛生環境部

(ア) 飲料水の給水

災害復旧作業に大量の水が使用されたため、水圧低下をまねいた美濃加茂市及び坂祝町の被災地に飲料水の供給を行なった。

表26 飲料水給水状況

出動機関名	出動先	活動内容		
		給水車	出動延回数	延べ給水量
美濃加茂市水道課 木曾川右岸上水道 用水供給事業 坂祝町開発課	美濃加茂市内被災地	2台	} 38回	} 38m ³
	〃	1台		
	坂祝町内被災地	ポリタンク9個	9回	0.18m ³
計		給水車 3台 ポリタンク 9個	47回	38.18m ³

(イ) ごみ処理

浸水地域の美濃加茂市で33,300m³、坂祝町で2,938m³の粗大ごみが大量に排出されたため一時集積場へごみを搬入し、急場をしのいだ。

特にごみの量が膨大であった美濃加茂市では県土木建設機械管理事務所、建設業協会などの協力を得て、ごみ処理を行なった。

(ウ) し尿処理

表27 し尿収集状況

(単位：台)

市町村名	し尿収集車	9.29	30	10.1	2	3	4	5	7	8	9	11	12	13	合計	
美濃加茂市	2.7t	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	1	36	
	3.0t	1	1	14	—	1	1	1	—	1	—	—	—	—	20	
	4.0t	2	2	5	—	2	1	1	2	1	—	1	1	1	19	
	小計	6	6	22	3	6	5	5	5	5	5	3	4	3	2	75
	収集量(k _t)	138.6	218.1	276.1	132.0	130.5	93.5	77.1	47.3	78.8	29.3	65.9	32.0	15.5	1,334.7	

市町村名	し尿収集車	9.29	30	10.1	2	3	4	5	7	8	9	11	12	13	合計
坂 祝 町	2.4 t	15	11	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	28
	2.7 t	10	12	—	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	27
	3.6 t	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	小 計	28	23	—	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—	58
	収集量(kl)	78.6	44.4	12.5	—	12.8	—	—	—	—	—	—	—	—	148.3
収集台数 合計		34	29	22	5	11	5	5	5	5	3	4	3	2	133
収集量合計 (kl)		217.2	262.5	288.6	132.0	143.3	93.5	77.1	47.3	78.8	29.3	65.9	32.0	15.5	1,483

(二) 防 疫

a 防疫活動

昭和58年9月29日から10月18日までの間にわたり消毒を行なった。

表28 防疫活動の状況

市 町 村 名	消毒戸数	備 考	市 町 村 名	消毒戸数	備 考
美濃加茂市	1,676	伝染病予防法による指示市町村のうち災害救助法適用市町村	蛭川村	87	上記以外で被害のあった市町村
坂祝町	254		岩村町	42	
計	1,930		山岡町	61	
高山市	46	明智町	40		
多治見市	1	串原村	6		
関市	1	上矢作町	18		
中津川市	149	萩原町	53		
瑞浪市	149	小坂町	22		
恵那市	250	下呂町	117		
土岐市	66	金山町	24		
各務原市	19	丹生川村	1		
可児市	20	宮村	3		
笠松町	1	久々野町	9		
七宗町	4	朝日村	7		
八百津町	24	高根村	2		
白川町	37	古川町	60		
坂下町	46	国府町	17		
川上村	3	河合村	4		
付知町	3	上宝村	3		
福岡町	20	小 計	1,415		
		計	3,345		

b 検病調査

美濃加茂市及び坂祝町において検病調査を実施した結果、伝染病の発生はなかった。

表29 検病調査の状況

区 分	出 動 数	実 施 戸 数
美濃加茂市	12 ^班 26 ^人	1,969 ^戸
坂 祝 町	4 16	301
計	16 42	2,270

エ 商工労働部

(ア) 金融対策

災害により被害をうけた中小企業者の復旧に必要な資金を供給し、企業活動の再建及び経営の安定に資するため、災害復旧特別融資制度を講じた。

融資条件 資金使途 運転資金、設備資金

融資限度 個人、会社 8,000千円以内

組 合 15,000千円以内（転貸は対象外）

融資利率 当初3年間 年 6.0%

4年目以降 年 6.5%

融資期間 運転資金 5年以内（据置1年以内を含む）

設備資金 7年以内（据置1年以内を含む）

申込期間 昭和58年10月11日から昭和58年12月31日まで

融 資 枠 35億円（県資金1,296,300千円）

オ 農政部、林政部

(ア) 農作物の応急対策

冠浸水後の農作物の生育回復と品質低下を防ぐため病害虫防除、早期ほ場排水対策等の指導を徹底した。

また、濁流等により、土砂の流入したほ場では、土壌の分析診断を行い、施肥改善指導を実施した。

(イ) 農林水産業施設の復旧対策

早急な復旧を行うため、大蔵省、農林水産省に対し、現場査定の早期実施を要請するとともに、関係職員を被災市町村に派遣し、査定設計書の作成等技術援助を行った。

(ウ) 山地崩壊地の復旧対策

山地崩壊のうち、人命、財産の保護等、民生安定上特に緊急を要する箇所については、昭和58年度に復旧を行う。

カ 土 木 部

道路河川等で緊急に復旧を要する箇所について、応急仮工事及び応急本工事を実施し、民心の安定を図った。

キ 教育委員会

表30 休校の状況

市町村名	学 校 名		休校期間
	小学校	中学校	
上石津町		上石津	9月28日
中津川市	川上分校		9月29日
恵那市	恵那北		"
美濃加茂市	太田		9月29日～ 10月1日
坂祝町	坂祝	坂祝	9月29日
串原村	串原	串原	"
上矢作町	下原田・上	下原田・上	"
小坂町	小坂・湯屋	小坂	"
高根村	高根	高根	"
国府町	国府		"
河合村	稻越	河合	"
県立	郡上高校定時制		"

表31 給食の中止状況

市町村名	学 校 名	中止の期間
美濃加茂市 坂祝町	太田小 坂祝小	9月29日 ～10月4日 9月29日

表32 教科書補給状況 (単位：冊)

区 分	補給冊数	内 訳	
		災害救助法 による給与	寄付による 給与
小学校	5,846冊	5,798冊	48
中学校	3,944	3,883	61
高等学校	291	—	291
計	10,081	9,681	400

表33 被災生徒の経済的負担の軽減
(授業料の免除)

区 分	軽減生徒数	備 考
県立高校	175人	10月～1月
学校法人立高校	38	"

(4) 資機材の調達

浸水地域的美濃加茂市及び坂祝町では、ごみ処理等に多くの資機材が必要となったため、関係機関から調達し作業にあたった。

また、可茂消防事務組合中消防署では、12台の車両のうち10台が災害をうけたため、9月30日県消防学校所属の消防ポンプ自動車を可茂消防事務組合に貸与した。

表34 美濃加茂市における資機材の調達状況

(単位：台)

月 日	他 団 体 か ら の 応 援								市 で 調 達		
	県土木建設機械管理事務所	加茂土木事務所	岡市	各務原市	可児市	安八郡内町村	郡上郡内町村	可茂郡内町村	ダンプ	トラック	その他
9月29日	—	—	—	—	—	—	—	—	49	3	10
30日(昼)	10	—	3	—	—	—	—	—	52	4	13
(夜)	—	—	—	—	—	—	—	—	26	—	13
10月1日	10	1	—	—	1	—	—	3	87	3	40
2日	10	—	—	—	—	12	8	—	80	—	43
3日	—	—	6	—	1	—	—	2	63	1	28
4日	—	—	5	10	—	—	—	1	30	—	15
5日	—	—	—	—	—	—	—	—	22	—	12
7日	—	—	—	—	—	—	—	—	19	—	9
8日	—	—	—	—	—	—	—	—	20	—	9
11日	—	—	—	—	—	—	—	—	24	—	11
12日	—	—	—	—	—	—	—	—	13	—	4
13日	—	—	—	—	—	—	—	—	7	1	2
合 計	30	1	14	10	2	12	8	6	492	12	209

表35 県広域防災センター備蓄資機材の貸与状況

資機材名	発動発電機	投光器	毛布
数量	20台	20セット	1,700枚
貸与期間	9月30日～10月12日	9月30日～10月12日	9月29日～10月25日
貸与先	美濃加茂市	美濃加茂市	県災害対策本部 厚生援護班 (救助用物資として調達)

(5) 交通の状況

ア 道路の通行止

9月27日から降り始めた雨は、28日になっても降り続き、県内の主要道路では未明から雨量による通行規制が実施された。その後も降り続く雨のため、各所で崩土、路肩決壊、冠水等により道路は寸断され、9月28日は県内の93路線144箇所で行き止が実施された。

29日には雨も止み、雨量による通行規制も解除され懸命の復旧工事により、災害から1ヶ月後の10月28日には、10路線12箇所の通行不能を残すのみとなった。

表36 日別規制状況（全面通行止）

月 日	国 道		主 要 地 方 道		一 般 県 道		合 計	
	路 線	箇 所	路 線	箇 所	路 線	箇 所	路 線	箇 所
9. 28	14	31	28	45	51	68	93	144
29	13	33	28	44	49	71	90	148
30	7	12	12	17	19	21	38	50
10. 1	5	8	6	8	15	15	26	31
2	4	6	5	7	15	15	24	28
3	4	6	5	7	15	15	24	28
4	4	6	5	7	15	15	24	28
18	2	3	3	5	7	7	12	15
28	2	3	1	2	7	7	10	12

表37 全面通行止一覧表（雨量規制を除く）

種 別	路 線 名	区 間	期 間	備 考
国 道	21号線	可児市今渡～美濃加茂市御前町	9月28日23:00～9月29日 7:00	落橋防止
	〃	美濃加茂市御前町～各務原市鶯沼東町	9月28日23:00～9月29日 7:00	冠 水
	158号線	上宝村平湯～上宝村安房峠	9月28日 4:00～10月6日12:00	長野県側災害による
	248号線	美濃加茂市太田町	9月28日23:00～9月30日 9:00	冠 水
	257号線	益田郡馬瀬村黒石	9月28日15:00～9月29日 7:30	崩 土

種別	路線名	区間	期間	備考
	257号線	益田郡下呂町宮地	9月28日17:00~9月29日 8:25	〃
	〃	恵那郡岩村町本町	9月28日19:30~10月1日18:00	〃
	〃	〃 上矢作町木ノ実	9月28日17:30~10月1日 8:00	〃
	〃	益田郡下呂町大淵	9月28日19:00~9月29日 8:25	冠 水
	360号線	宮川村落合~宮川村岸奥	9月28日10:30~9月29日18:00	崩土路肩決壊
	〃	〃 巣の内~ 〃 打保	9月28日10:30~9月29日 7:10	崩 土
	361号線	高根村上ヶ洞~高根村日和田	9月28日14:30~10月14日10:00	路肩決壊
	〃	高山市塩屋町~朝日村見座	9月28日 7:00~12月28日8:30	〃
	365号線	中津川市川上	9月28日17:30~9月29日16:30	崩 土
	〃	〃 阿木黒田	9月28日17:30~9月29日18:00	〃
	〃	岩村町一色	9月28日17:30~9月29日 8:30	〃
	〃	山岡町花日	9月28日17:30~9月29日 8:30	冠 水
	〃	土岐市鶴里町細野	9月29日13:30~9月30日10:00	陥 没
	〃	中津川市阿木字藤上	9月29日 0:00~10月5日17:00	路肩決壊
	418号線	恵那市武並町山足	9月28日17:30~9月29日 8:30	崩 土
	〃	上矢作町海	9月29日12:00~ 3月20日 現在通行止	道路流出
	〃	恵那市武並町(武並橋)	9月28日19:30~9月29日 8:30	冠 水
	〃	山岡町久保原吉野川	9月28日22:00~9月29日18:00	崩 土
	〃	〃 梅平	9月28日22:00~9月29日18:00	〃
	〃	恵那市三郷町伊保	9月28日23:00~9月30日12:00	路肩決壊
	〃	〃 飯地町杉野沢	9月29日 8:00~3月20日 現在通行止	〃
主要地 方道	福岡南木曾線	川上村地内	9月28日17:30~9月29日19:10	崩 土
	〃	坂下町(弥栄橋)	9月28日19:00~9月29日 7:00	冠 水
	〃	〃 小野沢	9月28日17:30~9月28日23:30	崩 土
	豊田明智線	明智町横道	9月29日 8:30~9月29日17:30	〃
	〃	〃 柏尾	9月29日 7:20~9月29日17:00	〃
	豊田多治見線	土岐市妻木町	9月28日18:15~9月30日10:00	路肩決壊
	多治見犬山線	多治見市宝町	9月28日17:30~9月29日 7:00	〃
	瑞浪大野瀬線	瑞浪市陶町大川~瑞浪市土岐町	9月28日13:50~9月30日10:00	〃
	奈川野麦高根線	高根村野麦峠~高根村野麦	9月28日 9:30~10月22日0:00	崩 土
	〃	〃 野麦 ~ 〃 日和田	9月28日 9:30~10月22日9:00	路肩決壊
	中津川山口線	坂下町握	9月28日19:30~9月28日23:40	冠 水
	〃	中津川市瀬戸	9月28日17:30~9月30日16:00	路肩決壊
	〃	〃 東町	9月28日23:00~10月8日15:00	〃
	中津川南木曾線	〃 神坂	9月28日17:30~9月29日16:00	崩土・冠水
	関金山線	金山町下袋坂	9月28日17:50~9月30日13:00	崩 土
	多治見恵那線	瑞浪市釜戸町神徳	9月29日12:00~9月30日10:00	路肩決壊
	〃	多治見市堀越峠	9月28日21:40~9月29日 7:00	崩 土
	恵那白川線	恵那市笠木川合	9月28日17:30~9月29日 8:30	路肩決壊
	〃	〃 中野方井尻	9月28日17:30~9月29日 8:30	崩 土
	〃	〃 笠置町姫栗	9月28日17:00~10月1日17:00	路肩決壊
〃	〃 長島町中野	9月28日17:10~9月29日 1:00	冠 水	

種 別	路 線 名	区 間	期 間	備 考
	恵那白川線	恵那市笠木町(笠木橋)	9月28日20:15~9月29日 6:00	〃
	恵那蛭川三川線	恵那市(東雲橋)	9月28日19:30~ 3月20日 現在通行止	路肩決壊
	〃	蛭川村一の瀬	9月28日18:00~9月29日 8:30	冠 水
	〃	白川町小畑~白川町下開田	9月28日14:30~9月29日 6:50	路肩決壊
	〃	恵那市大井町丸池	9月28日22:00~1月13日 8:30	〃
	高山八幡線	清見村坂下~明方村料金所まで	9月28日20:00~9月29日 9:00	谷より出水のため
	多治見白川線	八百津町八百津橋	9月28日22:00~9月29日 5:30	冠 水
	土岐可児線	可児市下恵土	9月28日17:20~9月29日 8:30	〃
	金山上之保線	金山町厚増	9月28日18:00~9月30日 8:00	崩 土
	〃	上之保村方生峠	9月28日18:00~9月30日 8:00	〃
	金山明方線	金山町岩谷	9月28日17:00~10月4日 8:00	〃
	〃	〃 卯野原~金山町弓掛	9月28日 7:00~9月30日18:00	〃
	下呂小坂線	萩原町下平~萩原町西上田	9月28日15:15~9月29日10:10	冠水・路肩決壊 ・崩土
	高山上宝線	丹生川村新張	9月29日19:30~10月26日10:00	暗渠損壊
	古川清見線	清見村小島峠	9月28日16:00~9月29日11:43	崩 土
	〃	〃 二本木以北	9月28日20:30~9月29日11:43	〃
一般県道	月瀬上矢作線	上矢作町磯東	9月28日23:00~9月30日17:00	崩土・路肩決壊
	上仁木明智線	明智町丸草	9月28日18:00~9月29日18:00	路肩決壊
	市之倉内津線	多治見市三ノ倉町	9月28日17:30~9月29日 7:30	崩 土
	〃	〃 〃	9月29日 8:30~10月7日 6:00	路肩決壊
	芋島前渡鶴沼線	各務原市犬山橋~ 美濃加茂市ライン大橋	9月28日23:50~9月29日 6:55	冠 水
	松原芋島線	川島町笠田	9月28日18:30~9月29日 7:00	〃
	三輪早田線	岐阜市鶺鴒屋	9月28日18:30~9月29日 7:00	〃
	黒川福岡線	福岡町栗本	9月28日17:00~9月29日18:00	路肩決壊
	井尻八百津線	八百津町錦織~ 八百津町丸山ダム調査所	9月28日23:30~3月19日8:30	〃
	細野土岐市停車場線	土岐市駄知町	9月29日 8:30~9月30日 9:00	〃
	〃	土岐市肥田町(森前橋)	9月29日12:30~ 3月20日 現在通行止	橋の取り付け損壊
	大湫恵那線	恵那市武並町上の洞	9月28日19:00~2月29日8:30	路肩決壊
	中野方七宗線	恵那市中野方坂折	9月28日18:00~9月29日18:00	崩 土
	下明智線	串原村戸中トウナイ	9月28日23:00~9月29日18:00	〃
	上手向稲津線	山岡町郡上~瑞浪市稲津町小里	9月28日 8:00~10月8日13:00	崩土・路肩決壊
	下手向陶線	山岡町釜谷	9月28日22:00~9月29日 3:00	電柱の転倒
	久保原阿木線	岩村町上切	9月28日18:00~9月29日18:00	崩土・冠水
	阿木大井線	中津川市阿木飯沼	9月28日23:00~9月29日10:00	路肩決壊
	〃	恵那市長島町東野	9月28日21:30~9月29日10:00	冠 水
	〃	〃 〃 〃 小野川	9月28日22:00~9月29日10:00	路肩決壊・崩土
	〃	中津川市阿木飯沼	9月28日20:40~9月29日10:00	冠 水
	中野方苗木線	蛭川村	9月28日18:00~9月29日 0:30	流木による
	毛呂窪姫栗線	恵那市笠木町毛呂窪	9月28日23:00~10月7日13:30	路肩決壊

種別	路線名	区 間	期 間	備 考
	苗木恵那線	中津川市岩宿(美恵橋)	9月28日19:00～3月20日 現在通行止	冠水、橋の流失
	〃	恵那市大井町岡瀬沢	9月29日22:00～9月30日16:30	崩 土
	東野中津川線	中津川市	9月28日17:30～10月6日17:00	崩土・路肩決壊
	木郷明智停車場線	上矢作町おおばと	9月29日 8:00～9月30日17:00	路肩決壊
	〃	申原村中沢	9月28日18:00～9月29日 7:25	崩 土
	武並土岐多治見線	恵那市武並町宿	9月28日21:30～9月29日18:00	冠 水
	〃	瑞浪市土岐町下沢	9月28日22:15～3月10日8:30	路肩決壊
	〃	〃 土岐町桜堂	9月28日16:00～9月29日14:30	冠 水
	御岳山朝日線	小坂町濁河～朝日村黒川	9月28日 7:00～9月29日18:00	崩 土
	湯屋温泉線	小坂町赤沼田	9月28日17:00～10月5日17:00	路肩決壊
	乗政下呂線	下呂町大字乗政字湯谷	9月28日18:00～9月30日15:00	〃
	落合飛騨小坂停車場	小坂町落合～小坂町落合	9月28日 4:00～9月29日 8:00	崩 土
	白草山公園線	下呂町みまやの	9月28日18:00～9月29日13:00	冠 水
	白山公園線	白川村平瀬～白川村御母衣	9月28日 6:30～9月29日 8:00	崩 土
	名張新宮線	国府町名張	9月28日16:00～9月29日 7:00	冠 水
	〃	〃 赤保木(熊野橋)	9月28日17:00～9月29日16:00	〃
	町方高山線	丹生川村町方(橋場橋)	9月28日16:00～10月12日10:00	工事用仮橋の流失
	岩井高山停車場線	高山市堰屋～高山市滝町	9月28日19:30～9月29日14:00	崩 土
	谷高山線	古川町高野	9月28日17:00～9月29日 6:00	冠 水
	〃	〃 大野	9月28日17:00～9月29日 6:00	〃
	〃	〃 瓜栗	9月28日16:00～9月29日 7:00	〃
	月ヶ瀬神岡線	河合村保峠	9月28日16:00～9月29日 7:00	崩 土
	〃	〃 温峰峠	9月28日16:00～9月29日 7:00	〃
	〃	古川町太江	9月28日16:00～9月29日 7:00	〃
	〃	神岡町山田	9月28日18:30～10月5日 8:00	路肩決壊
	鼠餅古川線	古川町太江	9月28日18:30～9月29日 6:00	冠 水
	〃	丹生川村森部	9月29日12:00～12月30日18:00	路肩決壊
	四十八滝線	国府町字津江	9月28日15:00～12月30日0:00	〃
	長倉神岡線	上宝村在家～上宝村白水橋	9月28日19:00～9月29日 7:00	崩 土
	〃	神岡町更雲	9月28日20:00～9月29日 8:35	路肩決壊
	新田飛騨国府停車場線	国府町釜ヶ洞	9月28日20:00～9月29日 7:48	崩 土
	稻越角川停車場線	河合村大谷	9月28日16:00～9月29日 8:15	崩 土

イ 鉄道の運休

表38 鉄道運休一覧表

線 名	区 間	不 通 期 間	不 通 の 理 由
中央本線	高蔵寺～土岐市間	9月28日16時55分～ 20時10分	高蔵寺駅構内、附近の河川がはん濫により浸水したことで、降雨により列車を押し止したため
〃	中津川～田立間	9月28日16時50分～ 29日3時20分	河川の増水と、降雨により列車を押し止したため
高山本線	白川口～猪谷間	9月28日12時40分～ 29日20時00分	長期間降雨により河川が増水し沿線の土砂流入、法面が崩壊したため
明智線	恵那～明智間	9月28日17時50分～ 10月1日19時50分	降雨により土砂崩壊したため

(6) 避難命令の状況

表39 避難命令の状況（自主的な避難を含む）

市町村名	箇所	戸数	人数	備考	市町村名	箇所	戸数	人数	備考
高山市	5	189	451	自主	明智町	4	20	59	自主
多治見市	1	—	20		上矢作町	1	12	50	〃
中津川市	1	19	50	〃	萩原町	4	23	86	自主
美濃市	1	2	—	下呂町	4	113	389		
恵那市	10	189	474	金山町	2	2	10		
美濃加茂市	3	500	1,500	久々野町	2	3	10		
土岐市	1	—	4	朝日村	6	27	96		
可児市	1	19	—	古川町	4	39	122		
八百津町	1	20	—	国府町	1	2	6		
白川町	1	300	1,000	河合村	1	1	7		
坂下町	5	291	1,162	宮川村	9	35	100		
川上村	1	2	5	神岡町	2	3	11	自主	
岩村町	6	30	128	上宝村	3	49	229	〃	
山岡町	3	14	62	計	83	1,904	—		

4 防災関係機関の活動

(1) 自衛隊

昭和58年9月28日20時20分飛騨川の増水により男女2人が白川町坂ノ東地内の中州に取り残され、地元での救出が不可能となった。このため県からの要請より航空自衛隊小牧基地では夜明けを待ってヘリコプターによる救出の発進準備をしていたが29日2時減水してきたため船で救出され自衛隊派遣には至らなかった。

また、28日23時25分美濃加茂市から市内の浸水により取り残された住民の救助の要請があり、直ちに県は陸上自衛隊第35普通科連隊に派遣要請をし、同隊からジープ2台が現地へ偵察に出動したが、除々に減水しはじめ29日6時40分美濃加茂市から派遣要請の取り下げがあり出動には至らなかった。

(2) 警察本部

昭和58年9月28日11時20分大雨洪水警報発令と同時に「岐阜県警察災害警備本部」及び「警察署災害警備本部」を設置すると同時に特別機動隊、県警機動隊を非常召集し、県警機動隊（40名舟艇4隻）を28日22時15分美濃加茂市へ出動させ避難誘導にあたった。

表40-1 岐阜県警察災害警備本部設置状況

設置日時	9月28日 11時20分
閉鎖日時	10月31日 17時00分

表40-2 活動状況

区分	日数	延人数
警察官の出動	13日	2,225人
舟艇の派遣	4日	15隻

(3) 消防職団員

県下の雨が激しくなるにつれ、各地で中小河川のはん濫、住家の浸水等の発生が危惧されるようになったため、各市町村の消防団は、河川の巡視、危険箇所の警戒等にあたった。

更に恵那市及び蛭川村消防団は木曾川に転落した2人の行方不明者の捜索に連日従事した。一方、美濃加茂市及び坂祝町の一帯が浸水したため地元消防団は、住民の避難誘導に当たった。また、県災害対策本部の要請等により、県下22消防団延580人がダンプカー27台、軽トラック2台を出動させ10月1日～2日にかけて廃棄物処理の支援を行なった。

表41-1 消防団員の活動状況（応援出動は除く）

（単位：人）

市町村名	9月 28日	29日	30日	10月 1日	2日	3日	4日	5日	計	市町村名	9月 28日	29日	30日	10月 1日	2日	3日	4日	5日	計
大垣市	3	—	—	—	—	—	—	—	3	福岡町	160	—	—	—	—	—	—	—	160
高山市	370	—	—	—	—	—	—	—	370	蛭川村	130	150	32	28	40	36	40	50	506
多治見市	238	—	—	—	—	—	—	—	238	岩村町	171	63	—	—	—	—	—	—	234
関市	138	—	—	—	—	—	—	—	138	山岡町	176	79	—	92	5	—	—	—	352
中津川市	600	91	45	37	—	—	—	—	773	明智町	264	—	—	—	—	—	—	—	264
美濃市	200	—	—	—	—	—	—	—	200	串原村	50	10	—	—	—	—	—	—	60
瑞浪市	377	—	—	—	—	—	—	—	377	上矢作町	171	72	50	30	14	—	—	—	337
恵那市	545	88	54	65	45	45	45	49	936	萩原町	467	467	—	—	—	—	—	—	934
美濃加茂市	293	293	293	293	293	182	—	—	1,647	小坂町	257	—	—	—	—	—	—	—	257
土岐市	462	—	—	—	—	—	—	—	462	下呂町	434	434	—	—	—	—	—	—	868
各務原市	80	80	—	—	—	—	—	—	160	金山町	375	—	—	—	—	—	—	—	375
可児市	250	250	—	—	—	—	—	—	500	馬瀬村	138	—	—	—	—	—	—	—	138
川島町	36	36	—	—	—	—	—	—	72	丹生川村	45	—	—	—	—	—	—	—	45
笠松町	122	122	—	—	—	—	—	—	244	清見村	195	—	—	—	—	—	—	—	195
上之保村	138	—	—	—	—	—	—	—	138	荘川村	130	—	—	—	—	—	—	—	130
和良村	22	—	—	—	—	—	—	—	22	宮村	152	—	—	—	—	—	—	—	152
坂祝町	100	100	100	100	100	—	—	—	500	久々野町	265	—	—	—	—	—	—	—	265
川辺町	41	41	—	—	—	—	—	—	82	朝日村	216	—	—	—	—	—	—	—	216
七宗町	49	—	—	—	—	—	—	—	49	高根村	65	50	40	—	—	—	—	—	155
八百津町	210	210	—	—	—	—	—	—	420	古川町	309	—	—	—	—	—	—	—	309
白川町	530	530	—	—	—	—	—	—	1,060	国府町	210	—	—	—	—	—	—	—	210
東白川村	50	—	—	—	—	—	—	—	50	河合村	154	—	—	—	—	—	—	—	154
笠原町	50	—	—	—	—	—	—	—	50	宮川村	72	15	—	—	—	—	—	—	87
坂下町	198	40	—	—	—	—	—	—	238	神岡町	100	97	—	—	—	—	—	—	197
川上村	70	—	—	—	—	—	—	—	70	上宝村	137	—	—	—	—	—	—	—	137
加子母村	138	—	—	—	—	—	—	—	138	計	10,153	3,318	614	645	497	263	85	99	15,674

表41-2 消防団応援出動状況

(単位:人)

市町村名	10月1日	2日	計	備考	市町村名	10月1日	2日	計	備考
関市	23	63	86		明方村	—	8	8	
美濃市	23	—	23		和良村	—	9	9	軽トラック1台
可児市	21	—	21		富加町	13	—	13	
安八町	—	83	83	2tダンプ13台	川辺町	20	—	20	
板取村	21	—	21		七宗町	—	28	28	2tダンプ1台
武儀町	—	31	31	2tダンプ2台	八百津町	—	21	21	2tダンプ1台
上之保村	—	21	21	2tダンプ2台	白川町	—	24	24	
八幡町	—	21	21	2tダンプ2台	東白川村	—	15	15	
大和村	—	16	16	2tダンプ1台	御嵩町	22	35	57	
白鳥町	—	23	23	2tダンプ1台	兼山町	—	14	14	2tダンプ1台
高鷲村	—	11	11	2tダンプ2台					
美並村	—	14	14	2tダンプ1台 軽トラック1台	計	143	437	580	2tダンプ27台 軽トラック2台

表42 消防職員の活動状況

市町村等名	9月28日	29日	30日	10月1日	2日	3日	4日	5日	計
多治見市	89	—	—	—	—	—	—	—	89
中津川市	46	24	3	3	—	—	—	—	76
瑞浪市	40	—	—	—	—	—	—	—	40
恵那市	37	8	8	8	12	18	17	16	124
土岐市	63	—	—	—	—	—	—	—	63
各務原市	40	40	—	—	—	—	—	—	80
神岡町	23	—	—	—	—	—	—	—	23
羽島郡消防事務組合	20	20	—	—	—	—	—	—	40
可茂消防事務組合	183	183	60	61	60	60	10	—	617
大垣消防組合	59	—	—	—	—	—	—	—	59
中濃消防組合	45	—	—	—	—	—	—	—	45
飛騨消防組合	86	—	—	—	—	—	—	—	86
海津郡消防組合	2	—	—	—	—	—	—	—	2
益田広域事務組合	51	51	—	—	—	—	—	—	102
恵南消防組合	30	—	—	—	—	—	—	—	30
恵北消防組合	9	—	—	—	—	—	—	—	9
計	823	326	71	72	72	78	27	16	1,485

(4) 東海郵政局

表43 無償郵便はがき等の交付

市町村名	交付 世帯数	交付枚数	
		通常はがき	郵便書簡
美濃加茂市	1,521	7,605	1,521
坂祝町	195	975	195
合計	1,716	8,580	1,716

表44 簡易保険の非常取扱

市町村名	措置の内容	件数	金額 円
美濃加茂市	保険料の特別 払込猶与	23	195,970
美濃加茂郵便局	保険貸付金遅 滞金免除	2	23,000

(資料：東海郵政局)

(5) 日本電信電話公社

表45 電話の故障

局名	加入数	故障数								
		9月28日	29日	30日	10月1日	2日	3日	4日	5日	6日
美濃加茂	15,766	15,766	1,611	668	428	273	121	41	16	0
上記以外	611,069	2,205	253	0	0	0	0	0	0	0
計	626,835	17,971	1,864	668	428	273	121	41	16	0

表46 臨時公衆電話の設置

市町村名	設置場所	個数	設置期間	利用度数
美濃加茂市	中濃体育館前	10	9月29日～30日	1,138
	中央公民館前	5	9月29日～10月3日	3,266
	美濃加茂電報電話局第一局舎前	9	(2) (10月4日～10月13日)	2,049
	美濃加茂電報電話局第二局舎前	5	9月29日～10月2日	5,898
下呂町	下呂町保井戸	2	9月29日	117
計	5カ所	31	—	12,468

(資料：日本電信電話公社岐阜電気通信部)

(6) 国鉄

表47 高山本線不通に伴う代行バス運転

月日	区間	台数	輸送人員
9月28日	飛騨古川～猪谷	2台	308人
	高山～飛騨細江	1	
	高山～久々野	1	
9月29日	高山～白川口	4	851
	高山～猪谷	1	
	高山～飛騨小坂	2	
	高山～飛騨金山	3	
計		延16	1,159

表48 施設等被害

(単位：千円)

線名	区間	被害状況	
		件数	被害
中央本線	古虎溪～中津川	4	2,988
高山本線	飛水峽～杉原	32	177,188
明知線	東野～明知	17	12,113
明知線	飯羽～岩村	電気関係	1,803
計		—	194,092

(資料：名古屋鉄道管理局)

(7) 中部電力

表49 電力の被害

市町村名	総需要戸数	停電戸数	停電期間	
			月日 時分	月日 時分
美濃市	6,700	400	9.28 17:12	9.28 21:01
美濃加茂市	10,700	800	9.28 20:41	9.29 11:28
可児市	16,800	200	9.29 0:15	9.29 14:35
八百津町	3,900	700	9.28 22:16	9.29 2:10
経川村	900	900	9.28 21:22	9.29 12:6
岩村町	1,500	300	9.28 17:39	9.28 23:15
明智町	2,100	600	9.28 21:08	9.29 1:40
串原村	300	200	9.28 20:18	9.29 14:15
計	42,900	4,100		

(資料：中部電力幹)

(8) 日本赤十字社

表50 救援物資の取扱

救援物資名	配布先	数量
毛布	美濃加茂市	1,100 枚
	可児市	100
	坂祝町	150
	可茂県事務所	10
	計	1,360
日用品セット	美濃加茂市	440 セット
	可児市	60
	坂祝町	60
	可茂県事務所	30
	計	590

表51 義えん金取扱状況

(単位：円)

受付		配分	
受付先名	金額	配分先名	金額
一般住民	1,422,997	美濃加茂市	1,292,997
		可児市	10,000
		坂祝町	100,000
		八百津町	10,000
		白川町	10,000
計	1,422,997	計	1,422,997

(資料：日本赤十字社岐阜県支部)

5 災害関係予算

表52 県の災害対策にかかる予算措置状況

(単位千円)

年 月 日	項 目	金 額
昭和58年9月30日 予備費充用	9.28災害知事見舞金	17,610
	小 計	17,610
昭和58年10月8日 9月補正	災害弔慰金(生計維持者等)	10,125
	災害援護資金貸付金	60,000
	貸付条件 期 間 10年(うち据置3年) 利 息 年3% (据置期間中無利子)	
	災害対策本部経費等	51,851
	災害救助費 49,918	
	災害救助法に基づく被害地救済助費	
	被災地域防疫活動費 1,933	
	小 計	121,976
昭和58年10月11日 専決処分	9.28災害復旧特別融資	1,296,300
	中小企業制度融資金機関貸付金 融 資 枠 3,500,000 融 資 対 象 9.28災害により被災した中小企業者等 融 資 条 件 限度額 個人、会社 8,000 組 合 15,000 期 間 運転資金 5年以内 設備資金 7年以内 申込期間 昭和58年10月11日～12月31日	
	小 計	1,296,300
昭和58年12月23日 12月補正	災 害 復 旧 費	13,295,348
	土木施設災害復旧費	10,999,834
	農林水産施設災害復旧費	1,834,414
	災害関連事業費	457,100
	観光施設災害復旧費	4,000
	緊急急傾斜地崩壊対策事業費	27,000
	災害関連緊急治山事業費	89,514
	林地崩壊防止事業費	33,600
	災害援護資金貸付金(60,000→240,000)	180,000
	市町村振興補助金	30,000
	県有施設災害復旧費	24,251
	災害対策本部経費等	12,327
	災害救助費(49,918→53,482)	3,564
	本部設置費及び災害調査費	8,763
小 計	13,692,040	
合 計	15,127,926	

年 月 日	項 目	金 額
	既計上予算内の災害対策にかかる額	179,175
	災害復旧費	18,428
	土木施設災害復旧費（治山施設）	6,737
	農林水産施設災害復旧費（林道）	11,691
	災害関連緊急治山事業費	156,347
	県有施設災害復旧費	4,400
	小 計	179,175
合	計	179,175
総	合 計	15,307,101

6 激甚災害の指定

(1) 商工業、農林業関係

昭和58年9.28災害において商工業関係、農林業関係等で大きな被害が発生したため、県災害対策本部では、関係省庁等に対し激甚災害指定の陳情を行った。

国ではこの災害が激甚であることに鑑み激甚災害として指定し、これに対し適用すべき措置を昭和58年11月11日閣議決定するとともに同月15日政令指定した。



昭和58年9月25日から29日までの間の暴風雨及び豪雨についての激甚災害の指定並びにこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令をここに公布する。

御 名 御 璽

昭和58年11月15日

内閣総理大臣 中曾根 康 弘

政令第231号

昭和58年9月25日から29日までの間の暴風雨及び豪雨についての激甚災害の指定並びにこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令

内閣は、激甚^{じん}災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（昭和37年法律第150号）第2条第1項及び第2項の規定に基づき、この政令を制定する。

次の表の上欄に掲げる災害を激甚^{じん}災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（以下「法」という。）第2条第1項の激甚災害として指定し、当該激甚災害に対し適用すべき措置を同表の下欄に掲げるとおり指定する。

激 甚 災 害	適 用 す べ き 措 置
昭和58年9月25日から29日までの間の暴風雨及び豪雨による災害	法第5条、第6条及び第24条第2項から第4項までに規定する措置並びに長野県南安曇郡奈川村及び上水内郡信州新町並びに岐阜県美濃加茂市及び加茂郡坂祝町の区域に係る災害について法第12条、第13条及び第15条に規定する措置
備考 上欄の暴風雨とは、昭和58年台風第10号（同年9月19日に北緯7度東経151度において発生した熱帯低気圧で、同月28日に北緯33度東経132度35分において温帯低気圧となったものをいう。）によるものをいう。	

附 則

この政令は、公布の日から施行する。

内閣総理大臣 中曾根 康 弘
 大 蔵 大 臣 竹 下 登
 農林水産大臣 金 子 岩 三
 通商産業大臣 宇 野 宗 佑
 自 治 大 臣 山 本 幸 雄

(2) 土木関係

9.28災害において公共土木施設に大きな被害を受けたことに鑑み、国ではこの災害を特定地域に係る激甚災害に指定するとともに、これに対し適用すべき措置を昭和59年2月28日政令指定した。

特定地方公共団体の指定は昭和59年3月17日告示した。

○

昭和58年における特定地域に係る激甚災害の指定及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令をここに公布する。

御 名 御 璽

昭和59年2月28日

内閣総理大臣 中曾根 康 弘

政令第21号

昭和58年における特定地域に係る激甚災害の指定及びこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令（抄）

内閣は、激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（昭和37年法律第150号）第2条第1項及び第2項、第3条第1項、第4条第1項並びに第24条第1項の規定に基づき、この政令を制定する。

(激甚災害及びこれに対し適用すべき措置の指定)

第1条 次の表の上欄に掲げる災害を激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（以下「法」という。）第2条第1項の激甚災害として指定し、当該激甚災害に対し適用すべき措置を同表の下欄に掲げるとおり指定する。

激 甚 災 害	適 用 す べ き 措 置
昭和58年9月24日から29日までの間の暴風雨及び豪雨による災害で、長野県南佐郡南相木村、上伊那郡中川村及び長谷村、下伊那郡松川町、阿南町、滑内路村、阿智村、下条村、天龍村、秦早村、喬木村、豊丘村、大鹿村及び上村、木曾郡木祖村、開田村、三岳村及び山口村、東筑摩郡四賀村及び生坂村、南安曇郡奈川村、北安曇郡八坂村及び美麻村、更級郡大岡村並びに上水内郡信州新町、鬼無里村、小川村及び中条村、岐阜県恵那郡山岡町、串原村及び上矢作町並びに吉城郡宮川村、静岡県磐田郡水窪町、京都府船井郡瑞穂町及び和知町並びに天田郡三和町、兵庫県氷上郡山南町並びに多紀郡西紀町及び丹南町、徳島県三好郡山城町、愛媛県宇摩郡新宮村、高知県長岡郡本山町及び大豊町並びに幡多郡三原村、宮崎県東臼杵郡諸塚村、鹿児島県鹿屋郡三島村並びに沖縄県島尻郡渡嘉敷村及び座間味村の区域に係るもの	法第3条、第4条並びに第24条第1項、第3項及び第4項に規定する措置
備 考 一 昭和58年9月24日から29日までの間の暴風雨とは、昭和58年9月25日から29日までの間の暴風雨及び豪雨についての激甚災害の指定並びにこれに対し適用すべき措置の指定に関する政令（昭和58年政令第231号）本則の表の備考に規定する昭和58年台風第10号によるものをいう。	

(都道府県に係る特例)

第2条 前条の規定により激甚災害として指定される災害は、都道府県についての激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律施行令（昭和37年政令第403号）第1条第1項及び第43条第1項の規定の適用並びに都道府県の負担額の算定についての同令第7条第1項の規定の適用については、これらの規定にいう激甚災害には含まれないものとする。

附 則

この政令は、公布の日から施行する。

内閣総理大臣 中曾根 康 弘
 大 蔵 大 臣 竹 下 登
 文 部 大 臣 森 喜 朗
 厚 生 大 臣 渡 部 恒 三
 農 林 水 産 大 臣 山 村 新 治 郎
 通 商 産 業 大 臣 小 此 木 彦 三 郎
 運 輸 大 臣 細 田 吉 蔵
 建 設 大 臣 水 野 清
 自 治 大 臣 田 川 誠 一

文 部 省
 厚 生 省
 ○農林水産省告示第1号(抄)
 運 輸 省
 建 設 省

激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律施行令（昭和37年政令第403号）第1条第2項の規定に基づき、次に掲げる県及び市町村を昭和58年に発生した激甚災害に係る同条第1項の県及び市町村として告示する。

昭和59年3月17日

文 部 大 臣 森 喜 朗
 厚 生 大 臣 渡 部 恒 三
 農 林 水 産 大 臣 山 村 新 治 郎
 運 輸 大 臣 細 田 吉 蔵
 建 設 大 臣 水 野 清

2 市町村

都道府県名	郡 名	市 町 村 名
岐 阜	恵 那	山岡町 串原村 上矢作町
	吉 城	宮川村

表53 激甚災害指定に伴い適用される措置の概要

区分	適 用 さ れ る 措 置	備 考
公 共 土 木 関 係	<ul style="list-style-type: none"> 一般率の嵩上げ（災害決定事業費） 標準税収入の1/2を超え標準税収入の2倍相当額まで 3/8 → 3/4 	川上村 山岡町 明智町 串原村 上 矢作町 丹生川村 朝日村 宮川村
	<ul style="list-style-type: none"> 連年災（災害決定事業費） 58年災を含めた過去3カ年間の標準税収入（災害決定事業費） 標準税収入の1/2を超え標準税収入の額まで 3/4 " を超える額 3/4 	上矢作町 宮川村
	<ul style="list-style-type: none"> 公共土木施設災害復旧事業等に係る特別の財政援助（法第4条） 超過累進率により財政援助額算定（市町村に適用する場合） 地方負担が標準税収入の 5/100 ~ 19/100 までの場合その 09/100 " 19/100 ~ 109/100 " 79/100 " 109/100 ~ 209/100 " 75/100 " 209/100 ~ 409/100 " 89/100 " 409/100 ~ " 89/100 	山岡町 串原村 上 矢作町 宮川村

区分	適用される措置	備考																																						
農 林 水 産 業 関 係	<ul style="list-style-type: none"> 農地等の災害復旧事業等に係る補助の特例措置（法第5条） <ul style="list-style-type: none"> 農地、農業用施設又は林道の災害復旧事業等で、県が行うもの又は県が補助するものに対し補助金で対応 <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">農地及び農業用施設</td> <td>被害農家1戸当たり通常補助控</td> <td>1万円超～2万円以下</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>除額のうち</td> <td>2"～6"</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>(農地50%、施設65%)</td> <td>6"</td> <td>90%</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">林道</td> <td>被害林道1m当たり通常補助控</td> <td>110万円超～200万円以下</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>除額のうち</td> <td>200"～500"</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>(奥地65%その他50%)</td> <td>500"</td> <td>90%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 農林水産業共同利用施設災害復旧事業費の補助の特例措置（法第6条） <ul style="list-style-type: none"> 農林水産業共同利用施設の災害復旧事業については1か所工事採択基準、補助率等について、次の特例 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th rowspan="2">採択基準</th> <th colspan="2">補助率等</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>10万円までの部分</th> <th>10万円超の部分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">激甚災害</td> <td>告示地域</td> <td>3万円以上</td> <td>4/10</td> <td>9/10</td> </tr> <tr> <td>その他の地域</td> <td>10万円以上</td> <td>3/10</td> <td>5/10</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">※一般災害は10万円以上2/10</p>	農地及び農業用施設	被害農家1戸当たり通常補助控	1万円超～2万円以下	70%	除額のうち	2"～6"	80%	(農地50%、施設65%)	6"	90%	林道	被害林道1m当たり通常補助控	110万円超～200万円以下	70%	除額のうち	200"～500"	80%	(奥地65%その他50%)	500"	90%			採択基準	補助率等				10万円までの部分	10万円超の部分	激甚災害	告示地域	3万円以上	4/10	9/10	その他の地域	10万円以上	3/10	5/10	<p>法：激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（昭和37年法律第97号）</p> <p>共同利用施設とは 倉庫 加工施設 共同作業場</p>
農地及び農業用施設	被害農家1戸当たり通常補助控		1万円超～2万円以下	70%																																				
	除額のうち		2"～6"	80%																																				
	(農地50%、施設65%)	6"	90%																																					
林道	被害林道1m当たり通常補助控	110万円超～200万円以下	70%																																					
	除額のうち	200"～500"	80%																																					
	(奥地65%その他50%)	500"	90%																																					
		採択基準	補助率等																																					
			10万円までの部分	10万円超の部分																																				
激甚災害	告示地域	3万円以上	4/10	9/10																																				
	その他の地域	10万円以上	3/10	5/10																																				
中 小 企 業 関 係	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業信用保険法による災害関係保証の特例措置（法第12条） <ul style="list-style-type: none"> 中小企業信用保険公庫が行う保証保険について、通常保険額と同額の災害関係保証保険限度額を別枠設定できるとするとともに、普通保険のてん補率の引き上げ等実施 <ul style="list-style-type: none"> てん補率（普通保険70%→80%）保険料率（約2/3に軽減） 中小企業設備近代化資金助成法による貸付金等の償還期間等の特例措置（法第13条） <ul style="list-style-type: none"> 設備近代化資金等の償還期間を、2年の範囲内で延長することができる 中小企業者に対する資金の融通に関する特例（法第15条） <ul style="list-style-type: none"> 商工中金は、1企業者1,000万円（組合3,000万円）を限度として、低利融資を行う <ul style="list-style-type: none"> 当初3年間 年6.05%（特に被害の著しい者 年3.0%）→前年度収入の10%以上又は事業資産の70%の被災 <p>※国民公庫、中小公庫、環衛公庫、医療公庫においても同様</p>	<p>局地激甚指定</p> <ul style="list-style-type: none"> 美濃加茂市 坂祝町 																																						
財 政 関 係	<ul style="list-style-type: none"> 小災害債に係る元利償還金の基準財政需要額への算入等（法第24条） <ul style="list-style-type: none"> 公共土木施設、農地等の小災害の復旧事業費にあてるため、地方公共団体が発行する地方債に係る元利償還に要する経費は、基準財政需要額に算入する 																																							

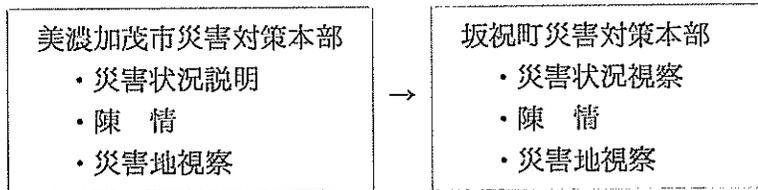
7 視察 陳情

(1) 視 察

自民党災害対策特別委員長

ア 日 程

昭和58年 9月30日(金)



イ 視察団

増 岡 康 治 自民党災害対策特別委員長

藤 井 孝 男 参議院議員

県選出国會議員

ウ 県災害対策本部の対応

知事（本部長）、総務部長、民生部長、土木部長が、現地で陳情を行った。

(2) 陳 情

ア(ア) 日 程

昭和58年10月17日(月)～18日(火)

(イ) 陳情者

岐阜県災害対策本部副本部長（副知事）、総務部次長、民生部参事兼厚生援護課長、環境衛生部次長、商工労働部長、農政部参事兼農地計画課長、林政部次長、土木部次長、教育委員会管理部長外

(ウ) 陳情先

国土庁、大蔵省、文部省、厚生省、農林水産省、通商産業省、建設省及び自治省の各大臣（長官）、政務次官並びに事務次官、自民党幹事長、総務会長、政調会長及び自民党災害対策特別委員長並びに県選出国會議員

(エ) 陳情書

陳 情 書

台風10号は九州に上陸後、温帯低気圧に衰えたものの、強い雨の区域が西日本から移動して当県の中濃・東濃・飛騨地域一帯に及び、木曽川上流域では数日来にわたり多いところでは日雨量 341 mm、総雨量703mmの記録的な降雨をもたらしました。

また、9月28日の大雨による増水はその極に達し、まず飛騨、東濃地方を中心に中小河川が一気にはん濫し、次いで道路が随所でがけ崩れ等により寸断され、恵那及び飛騨地方では甚大な土木・農林被害となり、中濃地方では降水を集めた木曽川が異常ともいえる大洪水となり、ついに流域の美濃加茂市及び坂祝町の一帯に濁流が走り未曾有の大惨事に至りました。

当県は、直ちに災害対策本部を、また県議会においては、災害対策委員会をそれぞれ設置し、警察地元消防団、水防団等防災関係機関が一致協力して総合的な応急対策を講じて来ましたが、10月15日現在の被害状況は、死者行方不明 5 人、全壊等り災世帯 3,516 世帯、り災者13,222人、被害総額は、530 億円余に及び、当県では昭和51年9月の長良川堤防決壊以来の大災害となり、現在災害の早期復旧と救援措置に万全を期し、現地では懸命の努力を傾注しているところであります。

このような実情にかんがみ、貴職におかれましても平素から災害対策に適切な御指導と御援助を賜っておりますが、今次の災害の実情を御賢察いただきまして、被災地域の早期復旧と援助措置に万全を期せられますよう、次の事項につきまして積極的な御措置と、その速やかな実現方について格別な御高配を賜わりますよう切にお願い申し上げます。

記

(財政関係)

- 1 今次災害による被害は極めて甚大なものであるもので、速やかにこれを激甚災害として指定されたい。
- 2 災害復旧事業及び各種災害対策に多額の財政需要が見込まれるので、地方交付税の配分について特別の配慮をされたい。

(民生関係)

- 1 災害救助法による「避難所の設置」に対する国庫負担の対象となる費用の限度額（100人1日当たり10千円以内）を実情に即するよう引き上げられたい。
- 2 災害救助法による救助活動の従事者及び協力者に対する炊出し及び食品の給与に要する費用を国庫負担の対象とされたい。

(衛生環境関係)

- 1 水道施設にかかる災害復旧費の適用基準を緩和されるとともに、国庫補助率の大幅引き上げを図られたい。
- 2 災害廃棄物処理事業にかかる国庫補助率の大幅引き上げを図られたい。

(商工関係)

- 1 今回の災害による中小企業の被害は著しく、この災害が中小企業に与える影響は最近の経済情勢からみて極めて憂慮すべきものがあるので、この災害を激甚災害に指定するとともに次の事項について配慮されたい。

- (1) 政府関係金融機関からの低利長期の災害特別融資枠の大幅増額を図られるとともに、「特別被害者」の認定基準の大幅緩和を図られたい。なお、営業上間接被害を受けた中小企業者にも長期低利融資を受けられるよう措置されたい。
 - (2) 政府関係金融機関から融資を受けている者に対する償還期間の延長措置を講じられたい。
 - (3) 被災企業の大部分は操業不能等の企業経営上の支障から資金繰り等について憂慮されるので、諸税の減免について措置されたい。
- 2 被災地に対する生活関連物資並びに災害復旧のための建設資材の応急態勢の確立と、物資の供給確保及び価格安定を図られたい。

(農政関係)

- 1 9.28災害を激甚災害に指定されたい。
- 2 農地及び農業用施設の災害復旧事業について格別の配慮をされたい。

(林政関係)

- 1 9.28災害を激甚災害に指定されたい。
- 2 山地被害の早期復旧に対する予算措置を講じられたい。
- 3 林道施設災害復旧に対する予算措置を講じられたい。

(土木関係)

- 1 道路、河川、砂防等はいずれも大規模な災害を受けている実情にかんがみ、抜本的な対策として、改良復旧はもちろん恒久的な施設整備を図るため一定計画による積極的な改良事業として採択されるよう配慮されたい。
- 2 木曾川（直轄河川）の護岸工事及び内水対策用排水機場の増設を図られたい。

(文教関係)

- 1 被災を受けた文教関係施設及び文化財の早期復旧について格別の配慮をされたい。

昭和 58 年 10 月 15 日

殿

岐阜県知事 上 松 陽 助

岐阜県議会議長 本 田 秋 広

昭和58年9.28災害による被害状況調

(昭和58年10月15日現在)

区 分	数 量	被 害 額
被 害 総 額		53,071,383千円
1 住 家 等		
り 災 総 数	3,808	棟
棟 帯 数	3,516	世帯
世 帯 数	13,222	人
人 命 者	4	人
死 行 方 不 明	1	人
重 傷	2	人
軽 傷	2	人
住 全 壊	7	世帯
流 失	1	世帯
半 壊	19	世帯
床 上 浸 水	1,889	世帯
床 下 浸 水	1,584	世帯
一 部 破 損	16	世帯
非 住 家	1,395	棟
計		2,301,500
2 社 会 福 祉 施 設	5	施設
3 医 療 術 生 施 設	71	施設
4 商 工 業 関 係 設	1,782	件
5 観 光 施 設	38	件
6 農 業 関 係 設		
農 産 物 施 設	42	カ所
畜 産 物 施 設	—	—
畜 産 物 施 設	—	—
水 産 物 施 設	4	カ所
耕 地 農 地 施 設	167.70	ha
耕 地 農 地 施 設	1,511	カ所
計		4,895,308
7 林 業 関 係 設		
林 産 物 施 設	—	—
林 産 物 施 設	—	—
山 地 施 設	652	カ所
治 山 施 設	1	カ所
森 林 被 害 道	33.44	ha
森 林 被 害 道	662	カ所
計		8,726,299

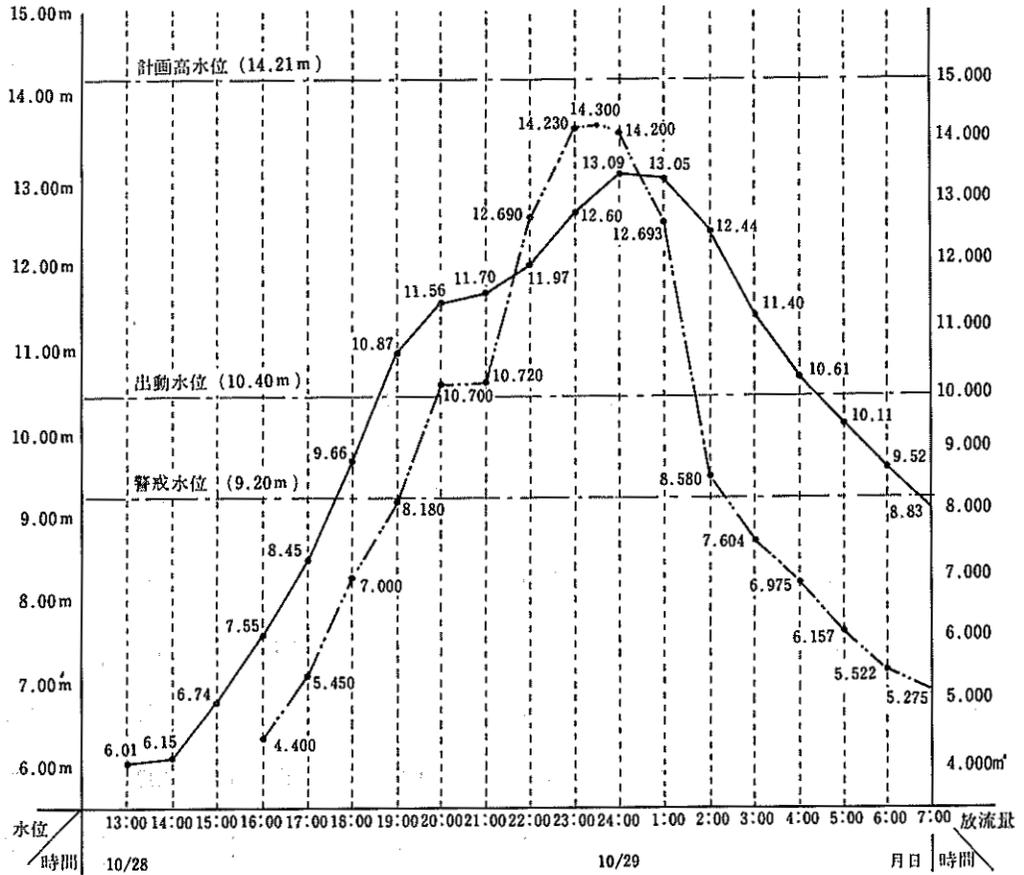
区 分		数 量		被 害 額
8 土 木 関 係	河 川	2,760	カ所	14,414,008
	砂 防	357	カ所	1,399,759
	道 路	969	カ所	5,241,924
	橋 り ょ う	39	カ所	841,650
	都 市 施 設	11	カ所	18,739
	計			21,916,080
9 文 教 関 係		45	施設	377,374
20 県 有 財 産		6	件	29,415

各 地 の 雨 量 状 況

(9月27日～9月28日)

観測 場所	項 目	最大1時間降雨量			最大日降雨量		総降雨量 ミリ	57年9月 の総雨量
		ミリ	日	時	ミリ	日		
多 治 見 市		64	28	16:00	170	28	223	292
恵 那 市		42	28	21:00	207	28	272	388
中 津 川 市		52	28	18:00	279	28	343	578
金 山 町		45	28	16:00	177	28	248	328
下 呂 町		34	28	16:00	217	28	280	328
丹 生 川 村		24	28	17:00	249	28	340	403

昭和58年9.28災害時における木曾川(犬山)水位及び今渡ダム放水量



8 表 彰

知事感謝状

ア 感謝状

感 謝 状

高 山 市 消 防 団 殿
関 市 消 防 団 殿
美 濃 市 消 防 団 殿
美 濃 加 茂 市 消 防 団 殿
可 児 市 消 防 団 殿
安 八 町 消 防 団 殿
洞 戸 村 消 防 団 殿
板 取 村 消 防 団 殿
武 儀 町 消 防 団 殿
上 之 保 村 消 防 団 殿
八 幡 町 消 防 団 殿
大 和 村 消 防 団 殿
白 鳥 町 消 防 団 殿
高 鷲 村 消 防 団 殿
美 並 村 消 防 団 殿
明 方 村 消 防 団 殿
和 良 村 消 防 団 殿
坂 祝 町 消 防 団 殿
富 加 町 消 防 団 殿
川 辺 町 消 防 団 殿
七 宗 町 消 防 団 殿
八 百 津 町 消 防 団 殿
白 川 町 消 防 団 殿
東 白 川 村 消 防 団 殿
御 嵩 町 消 防 団 殿

兼山町消防団殿
蛭川村消防団殿
美濃加茂市自治連合会殿
坂祝町消防友の会殿
自主防災会
妻木連合自警団殿
蛭川村下沢区殿
社団法人岐阜県プロパンガス協会殿
警察本部機動隊殿
加茂警察署殿

貴は昭和58年9.28災害に際し被災地の救援活動に尽力されました功績はまことに大であります

よって深く感謝の意を表します

昭和58年12月12日

岐阜県知事 上 松 陽 助

イ 感謝状

感 謝 状

社団法人 岐阜県建設業協会殿
社団法人 岐阜土木工業会殿
社団法人 美濃建設業協会殿
社団法人 郡上建設業協会殿
社団法人 可茂建設業協会殿
社団法人 恵那建設業協会殿
協同組合 中津川建設協会殿
恵那市建設協同組合殿
各務原市土木組合殿
恵北建設業協同組合殿
恵南建設業組合殿

日本電信電話公社岐阜電気通信部殿

中部電力株式会社岐阜支店殿

貴 は昭和58年9.28災害に際し災害応急対策に積極的に尽力されました功績はまことに大であります

よって深く感謝の意を表します

昭和 58 年 12 月 12 日

岐阜県知事 上 松 陽 助

ウ 賞 詞

賞 詞

岐阜県土木建設機械管理事務所

貴所は昭和58年9.28災害に際し災害応急対策に積極的に尽力されました功績はまことに大であります

よって賞詞を贈ります

昭和 58 年 12 月 12 日

岐阜県知事 上 松 陽 助

あ と が き

「昭和58年9.28災害」は、県下各地に大きなつめあとを残しました。この度の災害に際し、応急対策、救助救出活動及び支援活動に御活躍いただきました各位に対し、深く敬意を表すると共に、過去に経験の極めて少ない地域での災害にもかかわらず被害を最少限に食い止め、県民生活の安定に御努力いただきましたことに対し心から感謝申し上げます。

当県は、ほぼ2年に1回の割合いで災害救助法が適用され、2.6年に1回災害対策本部が設置される災害県であります。今回の9.28災害は、災害救助法の適用が長良川が決壊した昭和51年9.12豪雨災害以来であり被害額もそれに次ぐ大規模なものとなりました。

本誌は、この災害による被災の状況及び応急対策の状況など各分野にわたって記録し、大きな犠牲を代償とした尊い経験の記録として今後の防災行政の向上のための材料とすると共に円滑な災害対策を可能とするための資料とするものであります。

最後に、本誌の編集に当たって資料提供等御協力を賜りました関係機関に対し厚くお礼申し上げます。

昭和59年3月

岐阜県総務部消防防災課長

樋 口 次 之

昭和58年

昭和58年 9.28 災害誌

昭和59年3月発行

発行 岐阜県消防防災課

印刷 日新印刷株式会社
